京城日報

朝刊と合せて八頁

發行所 合資會社 京城日報社 編輯兼發行人 奥田直毅 印刷人 登口政太郎

市場零聞

大阪五節四 …十五錢と高移りにて三十七錢と押し返したる…

▲前場更に昂騰（大阪）

▲更に新高値

▲正米移出說

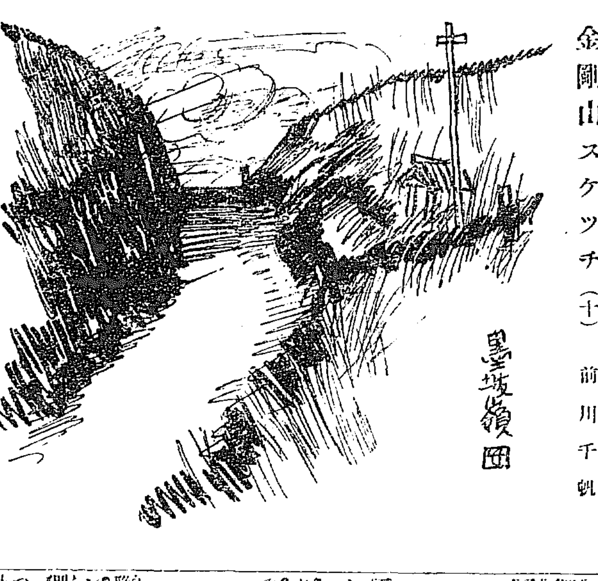
金剛山遊記 蘇峰生（口述筆記）

十、青山好と雖詩を題せず

自動車墨坡嶺を越ゆ＝卅三里を六時間＝南大門歸着＝後藤男の言＝名山に告別す

十五日は、豫定の如く、待ち設けて居たる自動車に乗り、正六時十分に末輝里を出た。自動車は調子よく飛んで行つたが、墨坡嶺にかゝれば少しく怪しくなつた。此處は三千五百餘尺といふ高山であれば、如何に道路を修繕しても、多少の困難を感ずるのは當然である。或は道端に山鳩が舞ひ上るやら、足元から雉子が立つやら、何となく愉快であつた。化川を過ぎて扶老嶺に行けば、愈怪しくなつて、こゝでは、何れも自動車から下りて、老を扶くるでなくて、却つて自動車を扶け、其の後押しをしたのである。此處も三千三百尺の高山であれば、これまた、致し方なからう。山を下りて新安に近くところで、愈よ怪しくなつて、そこでまた、卅分近く手間取つた。吾等の周圍には五六十人もあらうと覺ゆる鮮人の老若男女が群つた。最初は十里内外の道に殆ど三時間もかゝつたから、兎ても豫定の時刻に、平康に著くことは覺束なからうと覺悟して居たら、それより無茶苦茶に走り、殆んど乘りたる吾等をも、揺り落されん許りの有樣にて、一氣呵成に驅けつけ、三十三里の道を平康に著いたのは、一時前十分である。こゝで、但だ六時間の豫定が、七時間となつた許りで、何ほ約一時間の餘裕が有つたから、緩り午餐を認め、飯よりも先づ、京城日報を見たのである。實は十一日出發以來、一枚の新聞すら見ず、世間は全く眞暗であつたから、何よりも新聞が馳走であつた。しかし、何等見る程のものが無かつたのは却て仕合であつたといふ可きであらう。これから五時廿三分に南大門に著き、間もなく、前夜滿洲より京城に著したる後藤男が東京に歸るといふことを聞いたから、面會旁停車場まで行き、表訓寺より携へ來れる香木の杖一箇を贈つたのである。後藤男は例の調子で、賴山陽は耶馬溪を日本に紹介したが、俺は金剛山を世界に紹介するといふのが德富君金剛山見物の本意であらうと思ふ。諸君も宜しく德富君の大文章の出で來るを待たれたらよからうと他の見送りの伸間に挑發的に吹聽した。誠に他人心有り吾之を忖度すと言ひ度けれども、實は紀行文のみかは、二十八字の絕句さへも、作り得なかつたのは予が不敏と言ふよりも餘りに金剛山の山水が天下無双絕奇絕妙であるからであらう。昔人も愧被三閑鷗酒多事。青山雖好不題詩と言ふた。是れにて吾等は金剛山に告別するのである。餘計な形容詞を羅列するは、山靈水神に對して、恐縮するのである。

金剛山スケッチ（十） 前川千帆



但、見物の道順は、何れより見るも差支は無いが、先づ尋常の方法としては、内より外に及んだがよからう。外より内に及べば何となくビフテキを喫つた後に肉汁を吸ひ、フライを喰ふかの感が有る。また、何かの一を見るつもりならば、申す迄もなく外金剛である。内金剛の景色は、敢て悉く皆といふわけでは無いが、日本内地にても之に類したものが無いでは無い。外金剛の雄大崇高に至つては、兎ても他には見ることが出來まい。而して此雄大崇高の景色が、長箭港を距る僅に三四里の間に有りといふとは實に意外で無いか。別段、深山幽谷に分け入るまでも無く、朝、船より上れば、晝は已に玉流洞に到著することが出來る。船の都合さへよければ、その夜、復、乘船することが出來、その翌朝は再び元山に達するのである。されば先づ京城より三日を費せば樂に見物することが出來るのである。但、元山、長箭間の船繰であつて、これは何とか工夫をつけたらよからうと思ふ。最後に、今回の見物には、朝鮮鐵道局の安藤君に尠からざる厄介をかけて居る。一切のプランは、君の手に成りたのである。又丹羽君が嚮導の任に當られたのも、予に取りては、海に佳伴であつた。更めて、こゝに謝意を表して置く。（完）

列強大戰

▲希臘態度 全軍の上陸を待つ

コペンハーゲン來電に依れば希臘は四國協商側が約せる十五萬の兵が全部上陸し終るを待ち協商側に加擔すべし之れに先んじ希臘は攻勢的行動を始むる能はず（紐育電報）

▲リガ危し

獨軍は倍々リガに迫り同市は危險となれり（倫敦電報）

▲獨軍後方威嚇 ▽露軍上陸

露軍は突然リガの西方ドメスネスに上陸せり之れが爲めベロウ將軍の引率せる獨軍の後方連絡は威嚇さるゝに至れり（倫敦電報）

▲ダ峽陷落期 意外に速ならん

羅典來電に依れば聯合軍はコンスタンチノープルとの連絡を絕ちつゝあり土軍は之れを突破せん爲め死力を盡して戰ひ居れるも多大の損害を蒙むるのみダーダネルス海峽の陷落は一般が期待せるより速かなるべしと軍事通間に信ぜられ居れり（紐育電報）

▲全獨食糧支配

伯林來電に依れば獨逸聯邦政府は全獨逸の食糧價格及び供給を支配することに決し近く命令を發すべし因みに右は從來各聯邦の官憲にて機宜の處置を執れるものなり（紐育電報）

雜報

●視察團引見 岐阜縣視察團は二十五日午前總督府を訪問したるが寺內總督は同十時一同を第二會議室に引見したり

●道書記講習會 道府郡島書記講習會は二十五日より向ふ二週間毎日午前十時より午後四時迄西小門臨時土地調査局分室に於て開催、聽講者は前記諸書記七十餘名にして講師は内務部各課長、事務官等なるが開會當日は宇佐美內務部長官臨場、懇切なる訓話ありたり

●金融組合理事會議 二十五日午前九時より京畿道廳宣化堂內にて管內金融組合理事會議を開會せり

●朝郵株主總會 朝鮮郵船會社にては二十六日同社樓上に於て定時株主總會を開會す可し其利益金分配左の如し

前期下半年度繰越 千九百八十四圓
當期利益金 六萬五千八百九十三圓
合計 六萬七千八百七十八圓
内
準備積立金 三千三百圓
別途積立金 五千圓
役員賞與金 五千圓
配當金（七朱） 三萬六千七百五十圓
次期へ繰越金 一萬七千八百二十八圓

●海運賃引上 大阪商船及び日本郵船の二會社にては內地朝鮮各港間の航路に對する運賃の引上問題に就き種々協定中なりしが協商成立せる由なれば不日之れが實行を見る可し、引上の理由は時局に伴ふ船腹の不足に對する傭船料及び船員等の給料暴騰の爲めなりと

●水雷艇隊拔錨 過日來仁川に碇泊中なりし第十五號水雷艇隊四隻は二十四日午後三時十分拔錨旅順に向け出發せり

●石塚長官出發 農商工部長官石塚英藏氏は二十七日午前八時卅分南大門驛發汽車にて出發別府溫泉に靜養の上來月七八日頃東上す可し

●勝田氏入京 前大藏次官貴族院議員勝田主計氏は曩に京城を經て滿洲視察に赴きたるが歸路も亦京義線にて二十四日夜來京荒井度支部長官邸に投じたり

●勝田氏動靜 入京中の勝田主計氏は二十五日朝總督府に寺內總督、山縣政務總監、各部長官、兒玉總務局長等を訪ひ午後は工業傳習所其他を視察せり同氏は廿六日午後八時卅分南大門驛發汽車にて歸東の筈

□共進會入場者 廿四日（日曜日晴）

▲晝間 二萬壹三百八十九人
内地人 一〇、一三〇 其他外人 二七
朝鮮人 七、九九六 無料者 二、二〇一
支那人 二五六

▲夜間 五千四百八十一人
内地人 一、四〇〇 其他外人 一
朝鮮人 三、二四七 無料者 八一七
支那人 六

合計 二萬五千八百七十人
開場以來累計 七十四萬六千五百十四人

人事消息

▲後藤猛夫氏（帝國與信所長）廿四日午前新羅丸にて來鮮
▲梶原末太郎氏（京城貿易商）同上歸來
▲ボーラ氏（北米副税務司）廿四日午後新義丸にて内地へ
▲河東秉五郎氏（碧梧桐）二十五日正午龍山發列車にて開城へ向ふ同地一泊翌日平壤へ
▲後藤狂夫氏（舊稱新聞協會員）二十五日入京石原事務官宅滯在
▲荒木捨作氏（臨軍大尉）二十四日出發内地へ
▲松室重光氏（關東都督府民政部土木課長）二十四日發山へ
▲高野省三氏（三井物産京城支店長）二十六日出發釜山へ出張

南言北語

日本一の選擧大競爭で天晴れ當選した金澤の御家老横山代議士の當選も無効のみならず石川縣全部の選擧が無効になつた▲此奴こそほんとにオヤ〳〵だ英國が希臘娘に振られてオヤ〳〵よりも此方が餘つ程オヤ〳〵だ待てば廿露の日和▲何橋德五郎君は大ニコ〳〵だらう▲神經過敏の先生方には困る日本の歐洲出兵は米國を危くし且白哲人種に對し共通の危險を感せしむるものなりとイエローペーパーで名高い桑港のエキザミナーは妙なを云ひ出した▲日本は米國の避け難き敵で日本の野心は商業、軍事其他凡ての點に於て他國を征服せんとするものだと說いて▲親日論者を白痴だと罵り白人種は同種の戰爭を中止し共同の敵に對して準備せよだとサ▲惡い夢でも見て未だをびえて居るのかい其れ程恐ろしければ際へ廻て惡口を言ぬが好いチヤビンも休み〳〵云もんだよ▲支那の帝政論者も日本の態度が分らず何となく恐ろしくなつたと見えて若し日本が支那四億の民意に反するが如き事あらば再び金國で排日貨をやるのだと之れも妙な事を云つて居る▲民意帝政も大に恐縮する穩健識者な支那第一流の徐國務卿を始め政府中堅の周平政院長周財政總長、梁交通總長趙消史館長等も愈々御免を被ると云つて居るのではないか▲此の方が却つて民意を代表して居るかも分らぬよ▲而かし排日貨をやつて救國儲金の口術で民意の財貨を獻上させて國體變更に要する經費六百萬圓の補助にするのも鳥渡好い方法だね▲希臘が不義卑怯だと罵る人もあれば勃牙利の露國歸化人は祖國の奴等は不義不德だと憤慨して露軍と共に祖國と戰爭すると力んで居る▲物も見やう言ひやう卵も切り樣で四角やる處迄は大にやるべしだ

句信 大塊
朝鮮より歸り歸り見ればきたなくてたまらぬ事に御座候
ふる里の光も薄し後の月

通俗無盡法講義 附 改正府令 施行細則

林法學士著 價壹圓五拾錢 小包八錢 東京神田表神保町（振替東京三二八八） 發兌 修學堂 新刊書目申込次第呈す 經營加入者の爲親切平易に解釋す 賣捌所 林平、大倉、文林、青木、其他有名書店にあり

入院隨意 胃腸病院 京城南大門通三丁目（旧木商店横入る） 院主 佐々木末造 電話一六五九番

廿六日の
▼光の空‼光の海‼
打揚花火は午後二時より夜間に渉り間斷なく
共進會花火デー
夜の仕掛花火は慶會樓の池を一面の火の海と化す
▼三河花火の大特色‼
京城協贊會

大町桂月先生新著
儀式書翰文範
儀式文、儀式演說及び書翰文の寶典
文明愈進むに從ひて愈多く儀式文と儀式演說の必要を生ず、今や御大典を擧げらるに際し當代の文家大町桂月先生本書を公にせり、是れ一面御大典を記念し奉ると共に我が同胞をして文明の必要を充たさしめんとする也。其内容たる儀式篇には祝賀弔祭に際して文章を朗讀し或は演說を爲す八の爲にあらゆる場合を網羅し各章に渉りて其構想作例を示して一々丁寧に說明し又要する成語を蒐集して說明を附し和漢古今の名家及び自作の士及び自作の例文を以て之を添へ書翰篇にも同じく各章に渉り文章演說及び書翰文の作例を添へたれば世の儀式に關する文章を學ばんとする者の好伴侶たるべく又本書に就かざるべからず、此種の書物としては實に空前の壯觀なり
式辭演說書翰文に上達せんとするものへ羅針盤
最新刊 四六判全一冊 紙數八百餘頁 定價一圓五十錢 送料內地十二錢 其他四十錢
東京小石川區 東京市神田區一番地 書店 文會堂 發行 電話 振替

坪内博士監修 中島孤島、高須梅溪、薄田斬雲、松本雲舟新著 （見本）呈送
大典記念 通俗世界全史
（申込）十一月卅日限（本書內容）全部十六冊 四六判布製八千餘頁、九ポイント新活字傍訓附、着色地圖卅枚歷史名畫百枚索引附
世界的なる大正國民の爲に世界的知識の緊切なる歷史あり 國民向の歷史し無是れ坪内博士が多年の心血を注ぎて本書を立案し門下の俊才をして之を苦心編述せしめし所以なり本書は正史を以て其經と爲すと共に趣味豐富なる話傳說を博搜して其緯と爲し其間に博士獨擅の巧妙なる脚色を施したれば事實を山の如く興敗を詳にすべく人情風俗の變に通ずべし曠古の治亂大典を記念すべきの圖書蓋し此の間に古今の小說を讀むに及ばずして宛然小說を讀む感あり本書を措いて他に一とするもの無し

御即位記念圖書豫約募集

書名一覽		
東方列國史	暗黑時代史	十八世紀史後篇
希臘史前篇	封建列强史	十九世紀史前篇
希臘史後篇	十五世紀史	十九世紀史後篇
羅馬史前篇	十六世紀史	地圖及總索引
羅馬史後篇	十七世紀史	
新民族勃興史	十八世紀史前篇	

【注意】本書は豫約以外に販賣せず

●豫約元 （送本）十二月より毎月壹冊、拾六冊完（價格）甲種（一回即納）拾參圓半（送料）乙種（壹圓宛分納）拾六圓 二回に付東京市四錢內地八錢支鮮樺臺拾四錢
東京市牛込區早稻田 振替東京一二三三番
早稻田大學出版部 取次所 各書肆

大共進會

美人連の見物振り

滿鮮急行列車的の急行軍 織物の前に來ると突然停電 賑つた協賛會の藝妓妓生招待

共進會の美人見物デーとも言ふべき廿五日の一日は朝から藝妓妓生四百餘名の總見で賑はつた、先づ中券の美人連五十餘名は各自

■伸を聯ねて 市内を練り廻つた上、午前十時半といふに堂々と光化門へ御入來、つゞいて茶洞の妓生百數十名が揃ひの桃色洋傘に揃ひの桃色菊花の徽章で繰つて來る、お次ぎは京城券の美人連が揃ひの菊花徽章を胸につけて繰込む、續いて廣橋の妓生が這入る、會場内は時ならぬ百花繚亂『オホヽヽ』『ワハヽヽ』の嬌聲艶語から紅白の

■五色の聲を 初めて嬉めかしい島田やハイカラ髷の美人もあれば藤色の裳に色靴を穿いた妓生もあり場内到る處大人氣であつた、先づ先頭は先頭排縮編に共進會總見物の旗指物押樹てつゝ進んだはよいが第一號館あたりから各自三々伍々に自由行動をとる事となり第一號、二號館あたりからは滿鮮急行列車よろしく見物振りいや早や其の足の速さには

■驚き入るの 他なかつたが續いて參考館織物の陳列部へ來ると一同釘付けになつた程の見物振、ちよいと姉さん！あのお召の柄がはでだとか地味だとか、此の丸帯がお氣に召したとか召さぬとか頗る熱心な品定めであつた、次に石造複古式の建物美術館へと志した連中は無粹な新羅の佛様なぞは何うでも好いと許りそのまゝ思政殿前を通り拔けて慶會樓の餘興場に赴き此處で一同

■汁粉や團子 に舌皷うつての遊覽振であつた、又桃色の洋傘もつた茶洞妓生の一團は飽迄も隊伍堂々の見物振り、先づ鐵道館一號館から機械館と練り歩いて到る處『あいがう〳〵!!』の連發は御愛嬌であつた、次ぎに京城券番、茶洞妓生の一團も各館到る處を熱心に見物して終は餘興場の賣店や茶亭に腰を卸し盛んに御見物のやうであつたが何分にも四百餘名の美人を集めたとて會場内は到る處大賑はひを呈した

協賛會の美人招待
「妾、嬉しいわ」

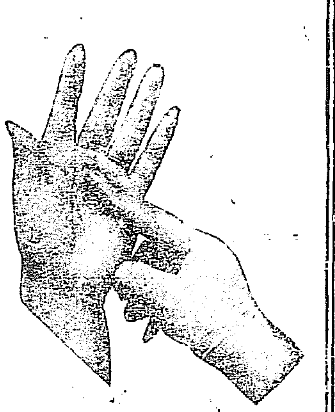
電燈が消え電車が停つた

吸上喞筒の破裂

京城の市街を走つて居る六十有餘臺の電車が廿四日の午後六時十分から一齊にピタリと停電して折しも共進會の夜間開場の賑ひ酣にして何千と云ふ觀覽者は『共進會行』の電車の中に詰込まれたまゝ何時迄待ても復舊しさうにないので徒歩で會場に行くもの又は引返すもの一時は仲々の混雜であつたそして此停電は十一時三十五分迄五時間十五分と云ふ長時間の停電を來した何んでも京城電氣會社創業以來の出來事だと云ふ

▲盛場の大騷動 電車の停電で騷いで居る一方では府内の電燈が一齊に兩三回明滅すると云ふ大騷動尤も處に依つては多少光力が減じた位であつたが府内の大部分は暗黒世界となつた譯である其内迷惑を蒙つた二三の箇所を擧げて見ると第一共進會の電氣裝飾が一時に滅えて丁度演藝館では博多にわかの出演中とて上を下なる大混雜天勝の奇術ぢや蝋燭を點けろと野次る者もあり係員は大心配であつたと云ふ京城郵便局でも三回許りの明滅に遭つて大切な郵便物の集配事務や電信の發受に忙しかつた時とて相當の混雜を來し其他朝鮮ホテル、千代本、花月、天眞樓、各活動寫眞館も多少停電を蒙つた樣であつた

▲有り餘る動力 京城電氣會社では此多忙の際使用者に迷惑をかけたのは實に濟まざる次第であると言つてゐるが其事情を聞くに同夜點燈後間もなく發電所に於て機械の車輪を轉動する吸上ポンプの破裂を來したので直ちに豫備用のものを取換ると共に一方晝間電流の分即ち電車運轉の動力として使用するものを燈用の線に接續せしめた其切替工事の際兩三回數分間明滅を來したる譯で從つて電車用の動力供給充分ならずして十一時十五分應急工事復舊迄停車せしめたるものであつて全然不可抗力の爲であると尚ほ同會社の電力は目下最新式の機械一臺にて一千八百キロワットの電力を出し居るも此の上尚ほ需電者あらば二千五百キロワット迄は供給し得可く更に豫備機械一臺一千二百キロワットを加ふれば三千七百キロワットの電力を出すことを得る譯であつて現在にては未だ使用ワット數は其半量迄も達して居ないから吸上喞筒の破裂は昨今の電力需要増加のために起きた椿事ではない



あと、僅か六日

愈面白くなつた大共進會 益新趣向を凝らす家庭博

泣いても笑つても二度と再び共進會と家庭博を見る機會は參りません！

大評判の家庭博も愈々あと六日を殘すばかりとなりました、殘る六日と言へば決して長い時日ではありません、此の短かい間を一日一日と延ばして結局見物する機會を失なふ樣な事があつたらそれこそ大變です斯る機會は再び滅多に來ないのです、今日の京城では社交界と言はず、學校生徒の間に至るまで家庭博を見ない方は交際場裡に先づ適當なる話題に苦しまなければならぬやうな不體裁を演じなければなりません斯る次第ですから未だ御覽にならぬ方は勿論の事一度二度御覽になつた方も繰返して御來で下さい場内の模樣替も出來ましたし陳列方法もいよ〳〵完全して參りましたのみならず有終の美を希望する家庭博係員の努力は種々の珍趣向を考がへましてそれが閉會まで一瞬一刻の休みなく著々と現はれてくるので御坐います、奥樣も旦那樣も坊ちやんもお孃さんもお女中も小僧さんも何誰も皆御來で下さい、泣いても笑つてもあと六日です、譯もなく出遊つてゐて此千載一遇の好機會を失なふの悔を貽さぬ樣になさい、あらゆる人を通じて家庭博を見ない人は共進會を見ないのと同樣一生の恥であると謂ふべきであります

愈出で、愈奇拔な趣向

大福引景品引換所の大景氣

連日連夜沸き返る樣な盛況を呈してゐるのは例の大福引の餘興ですが餘日少なくなつたところから一切の景品は洗ひ浚ひ入れて終つたので二十四日は入場者も素敵に多かつたので隨分澤山出ましたが次ぎから次ぎへと一等二等三等が一時間に十本も十五本も出る間に

▲白米、醬油樽 味噌樽、バケット、洗面、玩具などが殆んど重なり合つて出て來ましたので景品引換所はその度に大賑ひで一等から四等まで當つた人は直ぐに現金四圓から一圓まで入つた袋を渡されるので夢かとばかりに喜んで歸つてゆき係員も倶に大喜びです、中で困るのは朱塗の盆だの白米だの七輪だの座敷箒だのバケットだのが當つた人ですが家庭博にお來でになつた記念ですからと言はれてそんなら有難く戴いてゆきませうといつたわけで

▲立派な奥樣 が箒を抱いてゆくなどの滑稽もあります、

二十五日は以上の景品の外に今度新に本莊酒店富安、大塚、田中の各支店前田酒店三巴商會、百合正宗支店清力支店から寄贈の清酒約五百本だの木炭三十俵、ますや呉服店からの上等箱入半襟五掛龍山精米所の一升入洗粿五百袋高木商店の人形印ミルク十打その他

▲多數の景品 の當り籤の外に一等から四等の當り籤が數十本加はりましたから矢張り盛んに出ることでせう福引を引くまでも面白い外に種々の奇拔な面白い懸賞餘興があります、二十四日の主な當籤者は左の通りです

△三等水原農林學校内石本花子△四等櫻井町松田山藏△四等櫻井町吉田竹松△龍山元町一丁目九三村上ひさ子、白米一斗龍山元町二丁目岡村たか△三等旭町二丁目渡邊松一、釜西大門一丁目六十七番地河閣紅、味噌樽京城府安國洞二十四番地洪淳恒、白米二斗京城長城町七番地第十六號東光内片多榮樹△三等龍山水道町官舍大石房子△三等京城壽町三十一番地富寛房太郎△一等龍山漢江通七番峰きみ、味噌樽大和町二丁目多田ます△四等仁川寺町一丁目一色きぬ△四等櫻井町一丁目高橋しな△四等鐘路上山長平△四等京城府資勵洞一百九十番地甲△四等龍山鐵道官舍田川さき△四等本町四の一〇八坂口方淵邊政△三等京城府元町一丁目二七の五八番地まさ△四等京城府鋳洞九十一番地の十一吳成龍方金晶鎭△四等白米一斗、京城府冷洞一〇一番地柿世信[illegible]

京城中學校[illegible]、白米一斗京城櫻井町小林萬次郎△四等京城府天然洞百十二番地趙健變△三等貫鐵洞一百五十二番地[illegible]△三等仁寺洞八十六番地秋野しづえ△四等[illegible]洞あいじ△四等京城府橋町百八十八番地田中[illegible]△四等京城[illegible]洞三十九佐治な[illegible]一斗、京城蓬萊町三の一一[illegible]大門外中林洞[illegible]

家庭博今夜の筑前琵琶 旭扇會

（伏見の吹雪 江島旭峯 護良親王 水波旭櫻 大高源吾 東原旭扇の三氏）

今宵の琵琶

二十五日午後七時から家庭博に出演しての妙音秘曲に滿場を唸らせようとする京城筑前琵琶界の牛耳を執つてる旭扇會の東原旭扇女史は數年來橘流の宗家に就いてその蘊奥を極め五絃の琵琶を四絃以上に彈奏する技倆を得た非凡の名手であるが當夜の演曲の大高源吾は女史の最も得意とするもので既に斯界に定評のあるものだが赤水波旭櫻女史の護良親王は悲壯極まるもの、更に新に加はる事となつた同會の江島旭峰女史の伏見の吹雪は珍しい曲で勇壯なものであるといふことだ

福引景品寄贈

家庭博の福引景品中に二十四日から二十五日にかけて寄贈された各商店の物品は左の通りで同日以後の籤の中に全部入れました

▲寫眞撮影券十枚黄金町岩田寫眞館▲木炭二十俵林町下森商店▲反物三反風呂敷十枚本町三中井呉服店▲石炭十俵三國商會▲狀袋二千三百五十枚卷紙白本土佐紙株式會社▲狀袋千五百枚永樂町橋本商店

●連絡船故障 廿五日午前釜山出帆の連絡船對馬丸は洲上風波の爲め引返し來りて釜山港内に避難中なり從つて廿五日は缺航となれり（釜山特電）

廿六日は寶探し

奇拔な大景品が澤山あります

二十六日にはいろ〳〵變つた趣向の餘興がありますがその中でも面白い愉快な餘興は特別大景品附の寶探しであります、場所は家庭博の後庭五百餘坪の所で石垣の中に埋るか地中に入れるか庭園の草の間にあるか但しは土の上に落てゐるか兎に角一等五圓二等三圓三等二圓四等一圓の外に五等以下十等まで色々の高價な品物が隱してあります、時間は何れ午後ですが發見の方法正確な時間の詳しい事は明刊に記しますから、見落さぬ樣に御覽の上是非隱れたる福の神を探がしにお來でなさい福引で一等を引き當て、又寶探がしで一等を探し當てれば一擧にして十圓近くのお金が手に入るわけです

畏きに 各宮妃殿下及宮内省御内儀御用之光榮を拜せり ●九條公爵家始其他華族貴顯方御常用の榮を蒙れり 各博覽會にて金銀牌受領 ●注意 二婦人共頭上柿なきは僞物 定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓 髮を黑く長くつやを出しさら〳〵として髮のぬけを防ぎ髮あかつかざる事妙なり

■暴風警報 十月二十五日午前十時七分發△暫次風強かるべし△低氣壓位置支那東海北部△低氣壓示度七百五十四粍△進行方向東△警戒區域南部

下痢、腹痛にはヘルプが一番よい

秋口の下痢病は黴菌性の者多し故に止瀉藥には殺菌力を有する藥劑ならざる可らず 柏村博士のヘルプは此點を考慮し調劑せし者なれば從て胃腸藥になき殺菌、防腐の作用を具備す

殺菌力絶大なる 下痢止 腸胃藥

主治 ●食傷●食滯●時候あたり●水あたり●寢冷●冷腹 ●腸胃の故障より起る■下痢腹痛■吐瀉■胃加答兒■腸加答兒を治す

効能 瓦斯を止め

定價 二十錢 三十錢 五十錢 旅行携帶用 徳用 一圓 二圓五十錢

本舗 東京日本橋本銀町三 振替東京八六四番 津村敬天堂 ●取次は全國到る處の藥店にあり

賞牌受領の出品者記念寫眞は特に大割引にて需に應ず撮影迅速丁寧種々の便宜 共進會内東亞廣告塔下 龍山 エム寫眞館出張所 追て共進會褒狀受領の自祝として會場内に限り四割引にて御用命に應じ候

朝鮮煙草株式會社 電話一八二番 雨切煙草 パラダイス 十個本入 金武錢 雨切煙草 コスモス 二十本入金武錢

眼科專門 金井眼科醫院 京城本町六丁目（元京城郵便局通り） 院長 金井豊七 電話一五五六番

旅館 元山 愛媛館

小兒科專門 内科 若槻醫院 京城旭町三丁目（元十字病院跡） 電話二四六二番 ドクトル メヂチーネ 若槻寛隆

商況

東京株式市場

日本郵船		
東株第一	一七三、六〇	一七二、五〇
東株第二	一七一、五〇	一七一、〇〇
東新第一	一四三、六〇	一四三、八〇
東新第二	一四二、七〇	一四二、六〇

債券現物特電 二十五日出來値段（前日との比較） [illegible]

深川在米相場 九五、四〇

大阪期米特電 [illegible]

物産特電 [illegible]

天氣 くもり 曇り但少雨 ▲十月廿六日

日出 六時五十分 日沒 五時四十五分

●滿洲新排日事件

●支那官憲の不法行爲●

滿洲の支那官憲は利權擁護の爲め近來種々の手段を弄し其結果往々條約を無視するの行爲に出づる事あり曩に報道したる錦縣における邦人退去命令は即ち其一にして彼等の言ふ所は遼西地方は南滿洲にあらざるを以て日支條約適用地以外に屬す隨つて此處に日本人の雜居權を認むる能はずと云ふにありて本件は目下我營口領事と灤遼道尹との間に嚴重交涉中なるが次いで更に

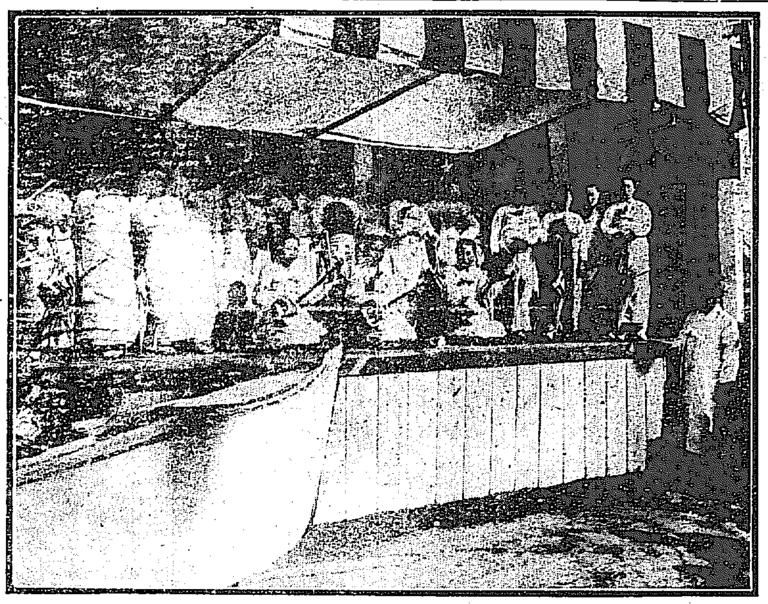
▼駐在所看板撤去 といふ不法事件を發生せり處は東淸鐵道沿線張家灣にして我長春領事館は同地居住三十名許りの邦人保護の爲め去七月中巡査駐在所を設置せしに此程突然支那巡警來りて該駐在所の看板を取外し之を詰れば知事の命令なり我等は唯命令を行使するに過ぎずと稱して相手にならず依て直ちに我が長春領事館より吉林道尹に向け其不法を詰責する事となり一面警部及び巡査を張家灣に增派し駐在所に再び看板を揭揚すると共に萬一の爲め居住邦人の保護に一層注意を加へつゝあるが本件につき道尹等

▼支那官憲の主張 する所は張家灣は不開放地なるを以て此處に日本巡査を配置するは不當なりと云ふに過ぎず然るに張家灣の我が巡査駐在所は日支條約實施以前の七月に設置され當時支那官憲は之を默認し居りながら今日に至り條約上の開放地にあらずとて我が警官の駐在を拒むは不道理なり殊に我が領事館へ何等正式の交涉をもなさずして突然駐所の看板を取外すが如きは甚しく日本を侮辱したるものにして不法も亦極れりと言はざる可らず又假に張家灣は支那において不開放地と認むるにせよ既に三十餘名の日本人居住し自然に開放せられたる觀ある以上こゝに邦人保護の爲め領事館の我が警察權を延長するは當然なるが況んや同地方には馬賊又は匪賊の被害頻出し邦人中現にその慘害を蒙りたる者あるに於てをや何れにしても支那官憲の行爲は徹頭徹尾

▼不條理千萬なる を以て我が山內長春領事は道尹郭宗熙に對し嚴重に談判中なるが錦縣の邦人退去事件といひ此の駐在所看板取外し事件といひ事は北京交涉局より或種の訓令ありし結果道尹又は知事が之を遵奉して此種の行爲に出でしものなること明白なれば本問題は事小なるも結局奉天に移し更に北京に移し將來の爲め再び此事なきやう嚴重交涉の必要あるべしと（大連）

●御眞影奉戴式

今回全羅北道廳を經て群山府及び群山公立尋常高等小學校に御下賜相成りたる御眞影は二十二日群山より天野府尹以下千々松主任書記、群山警察署長代理園田警部等全州に出張園田警部外に警務部より警官數名警護中上午後五時三分群山着列車にて著御停車場には官公衙吏員各學校職員生徒在鄉軍人銀行會社員赤十字社員愛國婦人會員新聞社員其他府民他數の奉迎者ありて御眞影は天野府尹奉戴の儘腕車にて群山府廳に奉送樓上の上壇に奉安申上諸員の最敬禮を行ひ直に小學校御下賜の御眞影は山本校長之を奉戴し群山小學校に移し奉り教職員生徒の最敬禮を行ひたるが二十三日午前十時より群山府廳に於ては官公衙吏員銀行會社新聞社員在鄉軍人赤十字社員愛國婦人會員其他市民多數參列し群山小學校に於ては教職員生徒參列し共に嚴莊なる奉戴式を擧行したり



廿四日日本一桃太郎行列お供の妓生連

●元山築港近況

元山築港工事の近況を聞くに著手中の諸工事は悉く豫定の進捗を告げつゝあり、荷揚基礎工事は從來使用の捨石約二百坪にして延長約六十間の工事成れり埋立工事は海陸兩方面より土砂運搬の計畫にして陸より運搬の分は既に準備整ひ居れども未だ著手するに至らず目下海の方面より運搬せるものは既に土砂有七十一坪を埋設するに至れりホーリング試驗は岸壁地點に於ける試驗は既に終り目下浚渫地點に於ての試驗を開始し漸々進捗しつゝあり

●記念館落成（安東）

安東縣の大典記念事業として大和橋通三丁目四番地に敷地一千餘坪を選定し工費一萬四千餘圓を投じて本年七月以來大倉組の請負に依り新築工事中たりし建坪百卅餘坪の安東物產陳列館は此程全部竣成せるに依り當事者立會檢査の上之が受渡を了せり

●咸南牛價低落

咸南地方に於ては例年農繁期に際し奧地のみならず一般に牛價の低落するを常とし殊に近年二三回の內地及び浦鹽方面輸出の有りし以來輸出杜絕したるに依り客月來較や下落せるが三水郡を中心とする奧地一體の牛價は近來稀れなる低落をなし大牛一頭三十圓中同十八圓小同九圓臺を示し牛皮の騰貴に反し今後益々低落の見込みなりと

●淸州在鄉軍人會

二十三日午後一時淸州面校東里の山下に於て開かる集まるもの五十餘名にて定刻開會の式を擧げ先づ野中分隊長の勅諭捧讀に次いで一場の訓辭あり續いて櫻井警務部長の支部會長としての各員に對する訓辭ありて式を終り餘興に移り數番の擊劍銃鎗の後實操の催しあり終て園遊會を開き各自十二分の歡を盡して散會したるは五時過なりき

●元山より

▲敦賀大和田莊七氏の計畫せる北鮮生牛移出は愈々實現せられ第一回の移出として積載船嘉辰丸（一、一二七噸）は十月十五日城津に入港せり生牛移出に就て多大の希望を有せし城津の官民は熱誠に之れを歡迎し大和田氏及び淸津人士に依つて組織せられし鮮牛移出組合旭組は城津官民の重なるもの及び船員を招待して午餐會を催し祝意を表し嘉辰丸は直ちに生牛二百五十六頭を搭載し更らに旅客三名を便乘せしめて同夕城津を解纜し敦賀に向ひ歸航せり今回移出の生牛は六月大和田氏來北の際買收し置けるものに新に購へる數十頭を加へ移出せしものにして今回の移出頭數を二百五十餘頭とせるは敦賀檢疫所收容場所に船室の關係よりせる結果なるが嘉辰丸の船室は甚だ廣く優に四百餘頭を收容し得るを以て次回よりは頭數を增加すべしと而して次船は來月七八日頃來著の豫定なるが淸津城津の何れに來航せしむるやは未定なるも來月同船の敦賀出帆までに比較的安價に生牛の買收を爲し得たる地に向け來航することとなるべし尙ほ嘉辰丸今般の貨客は大和田氏代理北鮮視察の實業家並に往年咸北道內務部長にして本航路開始に特別盡瘁せし中井喜太郎氏の三名外に繩叺千七百餘個にして繩叺は城津移出大豆の包裝用の需要を當て込みしものにて大和田氏自己の送荷ありしが次航若し淸津に來航するとせば薪炭類を積載し來る筈なりと

▲橫斷航路の初航として敦賀城津間に第一回の生牛輸送を試みたるが今後航海數を重ぬるに從ひ漸次航路を延長すべきは云ふ迄もなし、現に過般當事者より咸南道廳に對し其の航路延長の前提として穀類包裝叺及び乾鰯包裝用莚の消費高及び生產額等の調査方を依賴し來れる由なるが其筋の調査に依れば叺消費總數廿五萬枚以上にして之れが仕出地は大阪神戶下關宇品岡山等なり、この內咸南道管內にて生產すべきものは僅かに五萬枚位なるに過ぎず、尙ほ乾鰯用莚は其の需要年々一定せず、魚漁豐凶に至大なる關係を有するも普通乾鰯の出盛期は六七八の三箇月にして最近三箇年間の平均需要高は大約二萬俵內外なり、而して其需要地は江原道通川方面を最とし新浦遮湖之れに次ぎ此等は大部分下關阪神宇品岡山等より移入され幾餘は道內及び南鮮方面より移入され居れり

●連絡船上陸客

廿四日午後入港新羅丸一二等客

一等（四名）梶原末太郎、同榮子、鈴木義次、外人一名

二等（廿四名）前田久次郎、西村しげ、南部香都子、茂森重次郎、後藤猛夫、五島鶴子、中島多家吉、仙波熊十郎、李圭復、末松靜子、井內太郎、兒島善四郎、岡崎太郎、關川松次、宗月南、安藤直敏、南池磯夫、大橋龜吉、岩崎ぜん、中村長一、高野彥藏、藤井國造、苦木池遺源、牧野敏六

三等（百六十九名）

演藝案內

壽座 壽町 電話五七八 日活

▲十月二十五日より封切大寫眞提供○活寫界の名優尾上松之助出演稀代の俠客『鬼若三次』上中下三卷七千五百尺內容は攝州の大寺の叔父に當る者御家騷動せんと謀りしが城代家老の股肱たる當時の俠客御家の危急を救はんと苦心慘憺遂に惡人を亡ぼし御家の安泰を計るといふ○伊太利チエリオ會社大傑作探偵大活劇『幽靈組』上中下文明の裏面巴里の闇黑に蠢く地下室兇賊の巢窟、變裝兇賊、鬼神の大探偵怪しき美人あり、其に破れたる六部の頭目にしてゾゴマに非ずパドラに非ず無比の雄編是れ果して何者？○新派悲劇『女夫波』上中下、許嫁せし一青年は虛榮に憧がれ嫁たる青年の姉は嫉を嫁せんとする一方に於て俊才なる令孃の年を助けて意志を貫徹さす其間に於る波瀾曲折は近來の家庭悲劇なり外に喜劇『マックス犬の功名』滑稽一場高價西寫眞ゴーモン時局時報其他

黃金館 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 黃金町四丁目 電話二六三七

龍光館 龍山停車場前 電話（龍山）四三番

十月廿三日より寫眞取替 ▲泰西滑稽悲しき宿入▲泰西實寫世界的大工事パナマ運河實況▲泰西喜劇困つた親類▲泰西大活劇『鬼の爪』全三卷女丈夫メリーは惡鬼の爪る處となり墮落の淵に沈まんとしたが友人たちの力に救はれ再び善道に導かれ [illegible] ▲新派悲劇『漁火』全三卷 [illegible]

佐久良座 龍山 大橋幸太郎一行

新派『家庭教育劇』十月廿六日替り藝題（六回目）大阪朝日新聞揭載 勝鬨（大入に付二日間日延べ仕候）

▲先般來京城座開演の際は多大の御愛顧に預り御禮申上候▲當地に開演仕候に付倍舊の御引立を乞ふ▲河內彥助△鈴木丈次郎△女優大和田出子△小森敬一郎△野崎次郎△鈴波次郎

▲特等七十錢、一等五十錢、二等卅錢、三等廿錢▲五日間限日延なし▲尙當興行に限りおしまい迄値下げは致しません

教育大悲劇主 大橋幸太郎 敬白

勝鬨は大阪朝日本社より興行權を讓られたるものなり 代理店より勝鬨劇の書を配付します

御成座 御成町 電話二九一

第四十三回替藝題（一）『母の淚』全七場（二）喜劇『宮島しやくし』全二場 大人（一人前金五十錢）小人（一人前金三十錢）場代入らず早い勝で御覽に入れます

大正館 井町 電話八七三番

○十月廿一日より寫眞全部差換『實寫ギリシヤの古跡』○滑稽下男の眠り病○新派悲劇『閨夜の頃』全二卷六千尺○泰西冒險大活劇『大西洋の一夜』最長八 米國の外交官、密書を携へ大西洋上の船內に在り、敵之れを奪はんとして苦心慘憺、無線電信技手エディス孃の機敏に依りて、眞犯人を發見し、果然たる洋上の大船火事、一外交官の危難を如何に解決するか、可憐なる少女の苦心に依て如何なる解決を見せ○悲劇『鬼神太郎』全三卷六十五場

有樂館 本町 電話二六六 新築落成

當る十月廿二日より同廿六日まで五日間毎夕正六時開館

◎松旭齋天勝一行の大魔術◎▲先般來共進會演藝館にて空前の大喝采を博し好評嘖々たる天勝孃が今回本館の竣工を祝福し大魔術の外に一般に公開せざりし封切の秘藏各種を御覽に供し候間御來館を願上候○不思議の扉○塔中の美人○滑稽奇術○劇風取り○音樂合奏○『サロメ』○其他大小奇術十數番▲本興行中は從來發行の招待券入場券御斷り申上候

浪花館 明治町 電話二六〇番

●廿六日より毎夜六時開演仕候●おなじみの鶯巾齋虎丸來る

●初日演題 義烈百傑 ●赤穗快擧錄 ●德川天一坊 ●鹽原多助 三席 長講 右三席は虎丸十八番中の十八番

岡田千代子 虎丸

○尾崎司法大臣を名譽會長に戴き新渡戶稻造其他學界の權威を顧問とせる大日本國民中學會に於ては目下第二十四回新學期開講中なるが同會の講義錄は其內容豐富にして而も整然たることに於て他に比類を見ず從つて新に入會するもの頗る多く既に四萬人以上に達するの盛況を示せりと尙同會は今回特に大特典を提供するを以て此際入會するものは大なる便宜を得べし

○日本大學法制學會 の事業にかゝる普通文官受驗講義錄は法學博士及大審院判檢事を講師とせるを以て內容頗る完備し普通文官受驗には最も適當なるものなるが今回新學期開講中にて入會金免除其他各種の特典ある爲め入會者頗る多く非常なる盛況なりと云ふ

○通俗世界全史の豫約 坪內文學博士は我國民一般が西洋史に對して無知同樣なるが爲に幾多の不利不面目を蒙りつゝあるを歎き正史の事實を曲ぐるに及ばずして小說を讀むが如き多趣味の通俗史を作り史的知識を普及せしめん事を企て多年の苦心を費されしが博士の監修に成れる本書早稻田大學の御大典記念圖書として今回豫約發行を公表せられたり吾人は學界の爲に絕好の記念書を得るを喜び讀者諸君に之を推奬す因に云ふ其詳細を記せる御入見本は東京早稻田大學出版部より送呈すべし

●正誤 去月廿七日發行本紙附錄三面下段廣告欄に揭載蚊帳、吳絹、製綿卸商錢川吉兵衛氏の住所大阪市東區木町二丁目とありしは本町二丁目の誤植に付訂正す

●理想的の社交機關

京城壽町 新設の京城倶樂部 電話一三五八番

圍碁、將棋、球突、謠曲等の娛樂に純佛蘭西式の料理

京城日報社取扱の 萬歲旛 國旗揭揚器 各書籍

其他廣告寫眞銅版等總て本社同樣取扱可申候

仁川濱町 京日仁川代理部 電話二四〇番

優等清酒 一鶴 京城本町參丁目電話六五四番 本莊酒店

名物 鯛めし 折詰辨當 共進會開期中大勉强

會席御料理 松乃家 仁川水族館正門前（電話六二九番）

團隊多數の注文頻々有之候に付可成前以て御申込被下度候

萬歲旛頒布定價表

略號	名稱	品種	調製概略	寸法（曲尺）	一流の價格	郵送料
い	奉祝揭揚旛	甲	金巾製捺染金文字釣金具付	巾一尺六寸 長三尺二寸	六拾錢	十二錢
		乙	同 兩面上製	巾一尺六寸 長三尺二寸	一圓十錢	十二錢
		丙	絹綿交織豐錦金文字釣紐金具付	巾一尺六寸五分 長四尺	五圓	十八錢
		丁	純絹別織同上特製	巾一尺六寸五分 長四尺	八圓五十錢	十八錢
		戊	同 特別製大形	巾三尺 長八尺	三十圓	三十錢
ろ	記念掛額		純絹羽二重製金文字	巾五寸六分 長一尺一寸二分	五十錢	三十枚迄十二錢
は	奉祝佩用旛		純絹羽二重製鈕形ピン付	巾一寸三分 長二寸七分	二錢	八百枚迄十二錢
に	奉祝小旛		金巾製捺染白文字	巾七寸五分 長一尺三寸	四錢	六十枚迄十二錢
ほ	特製劒付塗竿		黑塗千段卷竿銀色劒付	長五尺五寸	一本一圓五十錢	十八錢

御大典奉祝用萬歲旛の義製造と運送上の都合に依り愈本月廿五日限り豫約を締切る事に致し候間御希望の御方は此際至急御申込被下度候

追て現品は本町ロシヤ物產商會鐘路韓盛商會及明治町村山商行へ陳列致し居り候間便宜最寄へ御申込被下度候

萬歲奉祝會 朝鮮一手販賣 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

御大典の期日切迫して參りました、千載一遇の御大典には必らず此萬歲旛を揭揚して奉祝せねばなりませぬ時機を逸せぬ樣に御注文を希望します

賣捌所 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部 ▲郵送料本社負擔▼

新刊發賣 兩京去來誌

簡淨疎宕なる山川人物の描寫 明快透徹なる朝鮮側面の觀察

蘇峰學人著 平福百穗、山下鈞、鶴田樑村、柳田謙吉、前川千帆（五氏畵）

▼四六版總クロース上製箱入 記事二七四頁繪畫寫眞三十二種 定價金壹圓五拾錢

著者の東京、京城間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀聲の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過眼の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字眞情流露し、而も簡淨疎宕の小品の妙を極む。特に『雲養集を讀む』の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剩す所なく、『朝鮮統治の要義』は五十頁に亙る長文にして、著者の朝鮮統治に對する經綸を吐露して萬丈の光焰を揚ぐ。加之、平福百穗氏を初め諸畵伯の繪畵は皆實境に臨で描く所に係り、嘖々眞に逼るの妙あり。體裁清雅高尙にして眞に几上の淸賞に堪ふ。

公債直取引 東京 二十五日出來値段（前日との比較）

大阪株式特電

日本郵船 一〇〇、五〇 一〇〇、四〇 南滿新鐵 一二三、一〇 一二三、一〇 同上 九五、二〇 九五、一〇

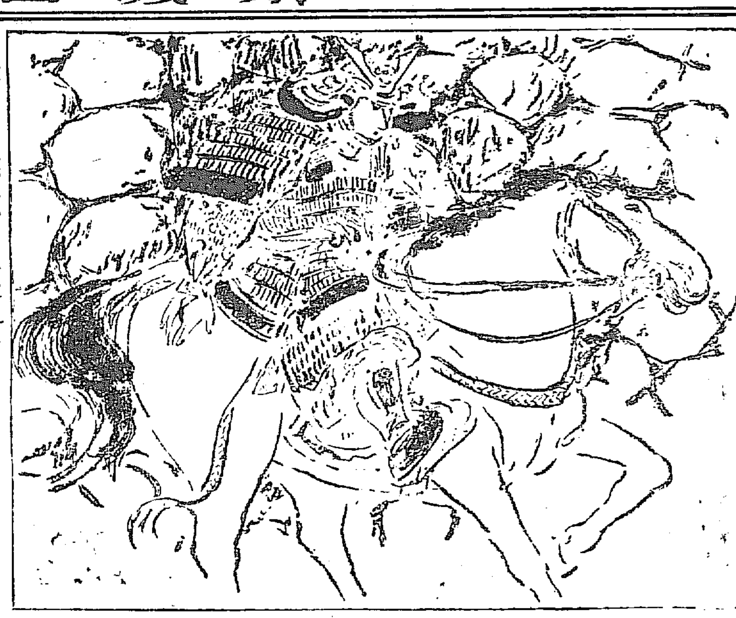
寄付 高値 安値 止め

[illegible]

越後大評定

第二十四席　早川貞水口演

首途の血祭



帝『如何にも御無法なる仰せなれど、左もなければ是より福井城へ引返すと、斷つての御言葉、各位方が罪なくして生命を捨てるとは、誠に御氣の毒、然れども江州守山まで乘出したる越前家が、假に福井まで引返し此事味方の中に知れ渡り、心證し居る諸大名が、如何なる者へあつて、變心あるやも知れぬ、大切なる戰ひに臨み、味方より打破れるやうなことあつては、由々しき御當家の御大事、依つて今この所にて、御兩名切腹いたされ、帶刀に首を下さる時は、各位の御子息に對しては、御加増あつても、決して家に傷くやうなことは、誓つて此帶刀が致さぬ、誠に氣の毒なれど、御兩所の首を頂戴いたしたい、如何でムる』云ふと長坂三郎太郎進みて『御道理至極、然らば斯樣いたす、伊丹氏は此方より年齡も弱く、老先きも長きことなれば、御家のため是非に及ばぬ、乃公一人切腹仕るに依り、伊丹氏は御助け下され度、一人切腹いたして、首を御進げ申したならば、其にて宜しうムらうから、左樣御取計を願ひたい、』甚『イヤ長坂氏、御貴殿切腹するに及ばぬ、此伊丹甚兵衞が……』三『イヤ〳〵伊丹氏、御控へ下さい……サア安藤氏、拙者の申す通り御計らひ下され、其代り拙者亡き後は、倅の儀は何分宜しく御賴み致す』と長坂の決心、そこで其儀を忠直公へ申し上ぐると『それにて苦しうない』と仰せられる、是で郡山帆柱觀音堂に於きまして、長坂三郎太郎美事な切腹、涙を揮つて安藤帶刀直次介錯いたし、之を越前家へ持參致す、其首を忠直公御覽あつて、莞爾と打笑ひ『誠に勇ましき長坂三郎太郎の最期、ソレ血祭に致せ』と仰つしやつて、槍の先へ此首を掛け、エーイドゥーン、ウワーツ鬨の聲を揚げて著押をなされる、是等の事は狂氣の沙汰でムいまして、眞の血祭と云ふべきものでムいません、敵の首を斬つてこそ血祭と謂ふのでムいます、然るところ越前家忠直大坂へ御著陣あそばす、安藤帶刀より道中の間違を大御所へ言上いたした時に、大御所御落涙遊ばし『惜しき長坂を亡ひたり』と、是で長坂の倅一郎に對し家督相續仰せ付けられる、此方は忠直公、大御所の茶臼山の御本陣へ參り、御目通り致し『大御所には麗はしき御機嫌を拜し、恐悦至極に存じ奉る、忠直昨年の御願ひには、病氣のため出陣相成兼、唯今やう〳〵參著仕りましてムる、御合戰數度の御勝利恐悦至極に存じ奉る』家康『忠直、其方は未だ壯健で耄碌致さぬか、アー、何時まで贅澤をして居つた、ム、此大敗は、其方の贅澤の場所には最屆覺の所も、其方の父秀康存生いたして居つたるならば、老年となつたる此家康戰場に草鞋は踏ますまい事相濟む、ア汝は秀康と異つて臆病者なり、寢惚顏いたして、今頃この大阪へ參著とは笑止千萬、昨年より心を盡して諸大名が城攻をなし居る今日、第一番に馳せ著くべき其方が此の如き始末は何事なるぞ、コレ、汝の寢惚友達は、此處に控へて居る』と御しやつて、御覽になつたのは、本多出雲守忠朝『コリヤ忠朝、其方父中務大輔忠勝存らば、今日の此戰場に苦むに及ばぬ、ム、汝の寢惚友達が、唯今參著いたした、何と臣下の者寢惚顏いたしたる忠直、忠朝、能う見やれアッハハハアー』と御笑ひになつた。

共進會最上のおみやげ　趣味腐敗せず
滋養大關玄糯　乃木餅　一箱十錢　一箱五錢
京城本町舊館前乃木餅屋　電話二七五三へ御注文迅速御屆し升

十月二十七日九星
舊九月十九日　辛卯
本命六白　乾　取　先負

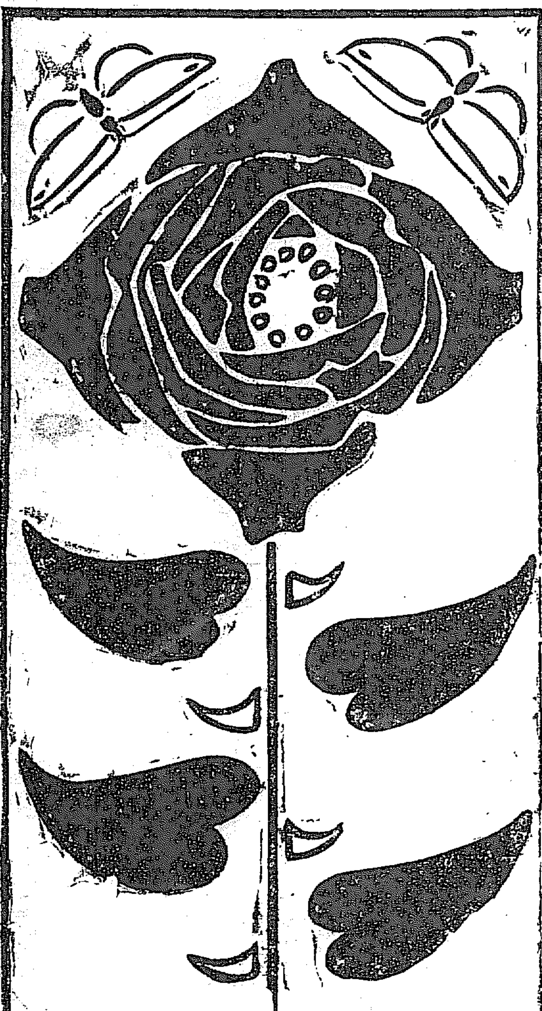
△六白●一致せざる事有り新事は合術方は吉暗[illegible]△八白●[illegible]△十赤●[illegible]△一白●[illegible]△二黑●[illegible]△三碧●[illegible]△四綠●[illegible]

●正誤　大正四年十月二十日發行京城日報第二面京城地方法院廣州出張所法人登記公告中『京畿道廣州郡中垈面松坡里百武拾番地ノ貳野村勝三郎』トアルハ『京畿道廣州郡中垈面松坡里百武拾番地ノ貳』の誤植に付訂正

天覽　御大禮繪卷
宮内省御用畫伯登内琢淵先生揮毫の御大禮繪卷は其長さ一丈有五尺金銀各色二十色緞子表裝角軸本仕立桐箱入にして畏くも天覽を賜りたる光榮に感泣し來る本會事業の紀念として三千部に限り頒布す十一月卅日限再發行せず八十錢（東京市芝區…）
帝國史書研究會
電芝三〇三五　振替東京二八五三九
右繪卷頒布員募集す希望者は郵券六錢至急送れ關係書類一切送附す……

客室親切　町學
平壤大和町　松岡旅館　電話三〇五番

りん病
消渇で困る方　多年の慢性も
自宅で人知れず秘密に治るフシギの妙藥あり只一劑を試よ切手三錢送れ其妙藥と自宅療法の詳細を報す
名古屋市南かじや町　武藤龜吉

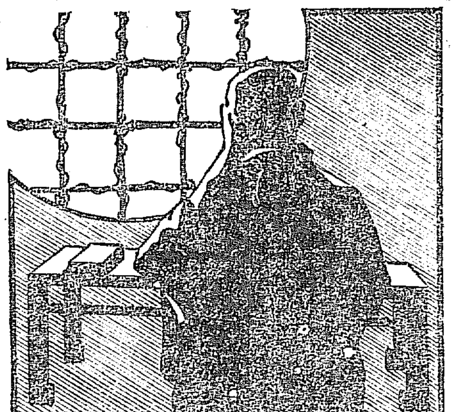


御園紙おしろい

旅行、散歩、訪問、宴會、芝居などにお出掛けの時には、必ず御園紙白粉をお忘れなさいますな、化粧崩れ顏直しが美しく手輕に出來、そして芳香は床しく肌を荒さず、懷中用として此上もない便利な化粧品は御園紙白粉であります。

定價壹冊　金拾五錢

(27)



煙草代用

讀書の好季到る！

長時間勉學の倦怠も——終日活動の疲勞も

森永ミルクキャラメルを常用せば元氣を恢復し無限の精力を增進す

ポケット入　大金十錢　小金五錢

ニセモノに御注意の上此の商標ある森永ミルクキャラメルの御愛用を乞ふ

東京　大阪　森永製菓株式會社

醫學博士室谷修太郎先生述（萬戸必携の家庭參考書）

家庭衛生及び救急法

最新刊　一名『醫者のくるまで』　定價金五錢　郵稅二錢

内容　一、個人衛生　二、傳染病豫防　三、凍傷　四、火傷　五、創傷　六、狂犬病　七、中毒　八、假死（人工呼吸法）種々の假死に於ける手當方法[illegible]　九、人事不省　十、卒倒　十一、痙攣　十二、異物嚥下　十三、[illegible]　十四、家庭必備の醫療具及藥品

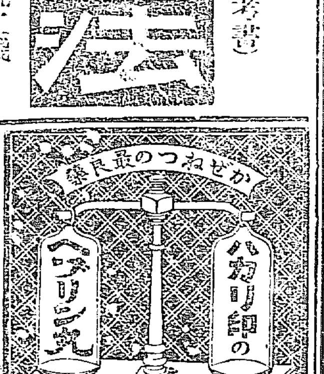
家庭博覽會内の賣店及市内各書肆で實費を以て御頒ち致します部數に限りありますから至急御買求を願ひます

室谷先生は本書の冒頭に左の如くお話されました『家庭に於ける衛生及救急法に就ては申上ぐることは仲々に多いが大要を記載することにした、幸に御一讀を賜り各自衛生の保全に勉めらるゝなれば此の上もない、[illegible]かれたとて別段御損にもならない事かと思ふ、[illegible]醫者の來るまで素人の救急法は本書を措いて他に之れに優るものはない』萬戸必携の珍寶として江湖の家庭にお勸め致します

發行所　京城大平通一丁目　振替口座京城三〇〇番　京城日報社代理部

於始政五年朝鮮物産共進會　銀牌受領

大同江沿岸貨客運送業
鎭南浦汽船合資會社
電話二五五番



かぜねつに罹れる諸君はハカリ印のヘブリン丸を用ゐて全快せらるべし
●各地藥店にあり

仁川期米　二十五日前場
[illegible]

前場の大激戰
[illegible]

京城正米
[illegible]

南大門廻着米
[illegible]

仁川現物市場
[illegible]

前場止寄
廿五日の十二月限
[illegible]

京城日報

年中無休刊
（第二千九百二十三號）

發行所 合資會社京城日報社

朝鮮統治の成績

第十 平和と秩序

蘇峯生

世人は徒らに警察政治なる名目に辟易し、之を毛嫌する者あれども、朝鮮半島の治安を保維し、秩序を把持する直接の責任者は、實に警察にあり。今茲に謂ふ所の警察は、固より憲兵と普通警官とを併稱する也。吾人は政治が境遇に隨ふて、變通す可きを知る。然も今に於て急に現行制度を變更せんとするが如きは、大早計も亦た甚だしからずや。

抑も朝鮮は所謂る無秩序國たりし也。正確なる意味に於ての平和なるものは、數百年來、朝鮮の庶民は殆んど之を享受したる者なかりし也。近くは東學黨の亂の如き、若しくは各地に横行したる火賊、草賊の類の如き、乃ち最近總督政治の開始迄は、殆んど一日と雖も寧日なき有樣なりき。而して明治四十年海牙密使事件より延いて、韓皇禪讓の事あるや、京城に於て暴徒蜂起し、當時の首相現今の李完用伯爵の邸宅を燒失せしめたり。現に併合の當時に於ては、北門以外一歩をも、日本人は護身の用意なくしては、踏み出だす能はざりしにあらずや。是れ吾人の目擊したる所也。若し夫れ僻遠の地方に於ける不良の徒輩が、嘯集、蔟擁して、良民を侵害するに到りては、滔々皆な是なりし也。

然も統監時代の警察制度は、一方には地方に警察部を設け、中央の警保局長、之を指揮し。他方には憲兵をして、治安警察の事に干與せしめ、其の系統相隔りて、其の聯絡の際、動もすれば齟齬、扞格を免れず。加ふるに漢城府には警視總監ありて、又た別種の機關を掌る。此の如く三個の機關鼎立して、徒らに船頭多くして舟を山に上すが如き結果を來したりしは、識者の頗る遺憾としたる所なりき。

然るに日韓併合の機方さに熟せんとするや、我が寺內伯は、警察力の統一を以て、主要の順序と認め、四十三年六月、韓國政府が、警察事務を擧げて、帝國政府に委任したるを機とし、七月一日憲兵及び警察官を、合同統制の下に措き。憲兵隊司令官たる陸軍將官をして、警務總長たらしめ、朝鮮各地は勿論、京城の警察事務をも掌らしめ、憲兵隊長たる佐官を、各道の警務部長たらしめ。警察權を一手に統一し、且つ集中し。中央よりして指揮命令する臂の手を使ふが如く、手の指を使ふが如くならしめたり。而して其の憲兵及び警察官の配置に就ても、都市、邊邑各〻其の宜しきに應じ、各〻其の所長を發揮するを得せしめんことを努めたり。乃ち其の効果として、今日に發現したるものは治安也、秩序也、平和也。固より此の如き大なる獲物は、無償にて得可き理由なし。吾人は之が爲めに多少の不便を忍ばざる可らざることもあらむ。然も得は其の損を償ふて餘りある也。

朝鮮に於ける憲兵若くば警官は、內地に於ては到底想像だも及ばざる職務に服しつゝあり。彼等は夫婦喧嘩等の仲裁をなす也。養蠶、植林の事にも預る也。道路の開鑿、修繕の如きは申すも及ばず。或時は夜學校の教師となり、邦語傳習の師匠となり。人民と接觸して、あらゆる人事に關係する也。此の如くして全く弊害を生せずとは、何人も斷言する能はざるも、縱令害あるも、利の害より多きは、今日に於て、又た今日と雖も、爭ふ可らざる事實也。固より現行制度は、永久的制度にあらざるも、五年の治績を計上するに於ては、此の一事を決して忘却す可らざる也。

大共進會 出品概觀（壹）

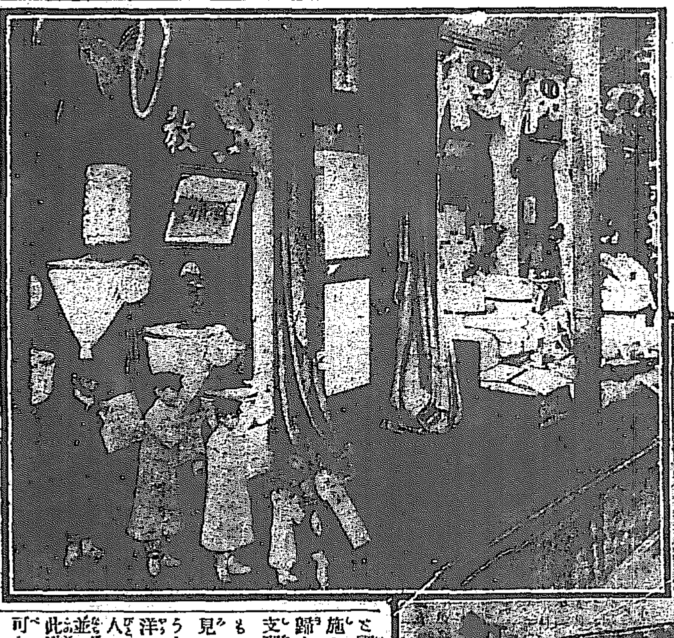
二號館（慈善救濟）

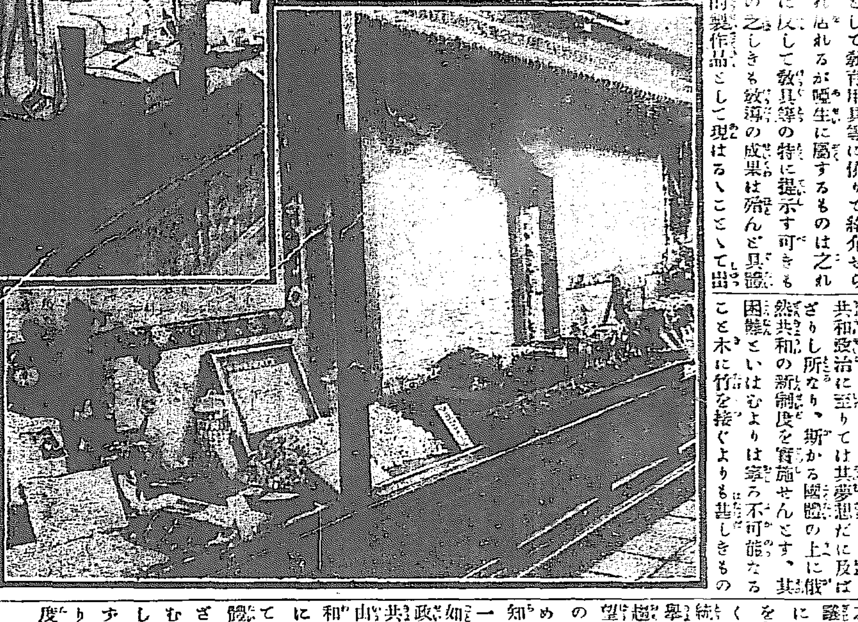
醫學講習所よりは教授用品として人體骨格、數種の解剖模型、標本、器械類を陳列し又た種々の圖表を以て生徒の教育狀況、卒業生の分布、並に現在生徒の出身地等を示せり

道慈惠醫院に於ては各道に於ける醫院分布の狀態、五箇年間に取扱へる普通及び施療患者數並に病類別及び之等事業に從事せし職員數經費等を比較表示し、併せて現在院舍中在來の朝鮮建物を利用したるものと新に建設したるもの及び開院當時應急的施設に係る院舍とを寫眞によりて夫れ〴〵比較對照し、尚ほ新院舍に於ける診療狀況並に現在入院患者の收容力等を示し、又た主なる外科及び婦人科的疾患の治療成績を標本及び寫眞を以て陳列し、且つ無料にて難患の治療に就きたるものより贈り來れる感謝狀の二三を示せり、而して之に配するに新舊醫具を對照して其優劣を示し漢藥と新藥を比較して其効用の程度を現はし尚ほ巡回診療に對する携帶材料の主要具を陳べ或は寫眞に依りて同診療の狀況を示し或は統計に依りて其患者數を現はせる等の外更に朝鮮に於ける助產婦の分布狀態を表示し之に道慈惠醫院速成助產婦科卒業者中開業せるものを比較對照し且つ寫眞を以て教育實習の狀況を示せり

▲濟生院に在りては事業の區分に從ひて之れを養育及び農場、盲啞の二大別となし養育部に於ては孤兒收容の實況より院兒が農場に移りて農民生活を營むの狀況に至るまで其の日常行爲を悉く寫眞に收め、之に養育部の配置圖、農場の模型並に農作物及び院兒人形等を配して事業の一班を紹介せり、又盲啞部に屬する事業中盲生に關するものは教導の功程を具體的に發表し得るもの少きが故に主として教育用具等に依りて紹介せられ居れるが啞生に屬するものは之れに反して教具等の特に提示す可きものの乏しきも教導の成果は殆んど具體的製作品として現はるゝことゝて出品物の多くは生徒の成績品に依りて占められ著目す可きもの極めて大なり、而して兩者教育の實况は寫眞に依り自修模樣は人形に托して遺憾なく紹介されつゝあり

▲民間救濟事業としては光州及び釜山に於ける癩療養所、大邱扶植農園、平壤盲啞學校等より各共事業の寫眞圖表、製作品並に説明書等を出品し又民因保護事業は精細なる圖表を掲げて之れを説明せり





恩賜事業＝共進會第二號館＝

袁總統と支那皇帝（下）

小松翰長談

今や顧つて支那の狀態を見るに肇國以來易姓革命相踵いで起りたるに拘らず未だ曾て帝王政治を改善したることなく、四百餘洲の民衆は秦漢吳越の帝王政治は知悉し居れりと雖も共和政治に至りては其夢想だに及ばざりし所なり、斯かる國體の上に俄然共和の新制度を實施せんとす、其困難といはむよりは寧ろ不可能なること木に竹を接ぐよりも甚しきものと謂はざる可からず、故に其未だ實施の緒にだも就かざる今日帝政に復歸するは決して怪しむ可きにあらず支那に取りては寧ろ賢明なる推移ともいふべく、殊に再度の革命運動を見ることなく平和の裡に其逆轉を全うするを得ば支那の爲めにも將た東洋の爲めにも慶す可き次第にして、何人と雖も苟くも意を支那全般の幸福並に東洋の平和に致す者に在りては此逆轉に對して悲むものはあらざる可きなり尚ほ茲に多少學理的の嫌あるも立君政體と共和政體との差別に就き一言せんに此兩政治は單に國體に應じ撰擇せらる可きものにて其間

▲何等優劣善惡の別あるものにあらず、要するに兩者の主なる差異は元主の世襲なると公選なると之れを帝王と稱すると大統領と呼ぶにあるに過ぎず、試みに米、佛共和國と英、獨の如き立君國との憲法を對照する時は帝王の權力と大統領の權力とは敢て大差なきを見る可し、例へば宣戰、講和の權能の如き、條約締結の權能の如き、議會の決定せる法案に對する不認權の如き、何れも一國の元主に屬する權能は君主といひ大統領と稱ふるも齊しく之れ享有す、唯だ實際の權力より之れを論ずれば世人の想像に反して大統領の權力は却つて帝王の其れにも勝れる事あり、其故如何といふに立君政治に於ては概ね輔弼の宰臣が施政の責に任じ帝王亦社稷の柱を擁でゝ能く之れを信任するが故に施政は常に寧謐熟慮の餘地を存するも、共和政治に於ては稍之れに異り、有爲の政治家を擧げて國務長官となし、閣員を選くことも亦立君政體に異らずと雖も大統領は一定の年限間民望に依りて選擧せられたるものなるが故に人情の趨く處何等かの奇功を奏して更に輿望を博せんことを冀び、斯くて再選の志望を遂げむとの念慮離れざる爲め往々にして自説を主張し却つて衆知を排斥するの嫌なしとせず、故に一般の想像よりせば立君政は專政の如く、共和政治は衆知を集むる自治政の如くなるも事實は之れに反して共和政治に專政を見、立君政治に自由を見るを常とす、從て國體上共和政治に滿足せざる可からざるものに在りては止むを得ざるも、幸にして立君政體の下に在る國民が共和政體を求むるが如きは其眞相を了解せざるの罪に座するものにして誠に憐む可きものと謂ふ可し、支那國民にして遲蒔き乍らも其過を覺り、遠からずして其本に復せんとするの説眞なりとせば他國のことながら洵に目出度き極みなり

日報俳壇

雄子郎選

沙魚

潮低く島晴れ沙魚の動く見ゆ　五城樓
岸の灯に見て沙魚釣の歸帆哉　可雪
沙魚釣や遠山の暮色蒼く鳧　句碑守
沙魚釣る彼の島陰を汽車過ぐ　湖外星
沙魚釣や雨の乾ぬ岸の草　沛千

秋蚊

講莚の末座秋の蚊拂ひけり　韮城
秋の蚊の聲なきは亦憐れ也　黒天

蟲

蟲鳴くや今出し月のありどころ　東村
塀崩れせしに蔦や蟲の聲　橙黄子

公州にて

行長の負けし城壁や虫の鳴く　曉村

蟷螂

蟷螂や弟を打つ總領子　廿村
草刈の鎌と戰ふ蟷螂かな　泉園
草船に小川を下る蟷螂かな　螺堂

秋蚊帳

秋蚊帳や讀まで重ねし書の埃　橙黄子
秋蚊帳や隣家の宴夜を徹す　同
疑ひし妻の懷姙や秋の蚊帳　韮城

木賊刈

木賊刈れば濕りし土の乾き哉　山民
脚もげし虫の行方や木賊刈る　同

鹿

鹿鳴くや霧迫り來て山沈む　五城樓

宮島

鹿歩りく路一杯の鳥居かな　橙黄子

雁

月前の雁眺めつゝ獵戻り　淸溪
初雁や煙突つくる高足場　末智男

又々大勝

共進會餘興自轉車大競爭會

二流撰手競走
第一著 平井撰手
愛乘車 ケンネット

聯合撰手競走
第一著 鹽谷撰手（黄壽福改メ）
愛乘車 グロリヤ
第二著 鄭撰手

京城本町一丁目・電話局四八〇番・振替九三九番
自轉車及附屬品直輸入商 京都 大澤商會京城支店

廿六日の
共進會花火デー
▼光の空!!光の海!!
打揚花火は午後一時より夜間に涉り間斷なく
▼夜の仕掛花火は慶會樓の池を一面の火の海と化す
▼三河花火の大特色!!
京城協贊會

收穫用農具 其他
京城南大門外 電話長四〇三番
朝鮮勸農株式會社販賣部（電報略號カ）
稻扱 籾摺臼 唐箕 萬石 篩 鎌等
製繩器 製莚器 製叺器 藁打器及
改良農具園藝用具養蠶製糸器具器械肥料各種

苗木種子
永登浦 電話長八番
朝鮮勸農株式會社苗圃（電報略號カノ）
櫻 楓 桐 落葉松 栗 櫟 欅 赤楊 ニセアカシヤ
松 ポプラ（ニセアカシヤ種子栗櫟其他種子）
果樹苗各種 桑接木苗 桑實生苗 其他

今般前記の通り最便利の地に販賣部を設け大に業務を刷新し一層確實低廉に御用命を承り候間益々御愛顧の程奉願候
京城旭町二丁目 電話長三六八番
朝鮮勸農株式會社（振替貯金口座京城三七八番）

列強大戰

▲佛軍サロニカ上陸中 巴里來電に依れば二十三日夜發表の公報に曰く佛軍は規律正しく且つ都合好くサロニカに上陸を繼續しつゝありて希臘の國境を通過せる佛軍は既に塞軍と相接するに至れり(倫敦電報)

▲獨逸瑞典に謝す ストツクホルム來電に依れば獨逸のトロール漁船は瑞典の領海内に於て瑞典の潜航艇に發砲したり之に對し伯林海軍參謀は謝罪の意を表示し十分事實を調査すべきを約せり(倫敦電報)

▲英潜航艇活動 露都來電に曰く英國潜航艇はリボー港附近に於て裝甲巡洋艦プリンツ・アダルベルト型(八五五〇噸)の巡洋艦を擊沈したり(紐育電報)

◎奉天全省選擧 君主制に贊成か

廿五日午前十時より巡按使公署にて奉天全省國民代表の複選を爲せるが投票者は監督官の監視の下に初選されしもの、内官憲の指定せる者五十六名を複選せり國體投票は多分二十八日なる可く滿場一致にて立憲君主に贊成す可き形勢なり(奉天特電)

◎芝罘方面狀況 松本領事歸來談

バタビア領事に轉任せる芝罘領事松本幹之亮氏二十五日商船哈爾賓丸にて大連より門司に著したり氏の談に曰く芝罘は日獨戰以前青島全盛の時代は其の繁榮を青島に奪はれたる傾向ありしも其後景氣挽回し目下防波堤及び倉庫を建造し貿易の繁盛を圖りつゝあり帝政問題起りてより彼の救國儲金加入者は其寄附金を取り還すべき意氣込みなり目下二百萬圓の資本にて燐寸會社の計畫あるも經營困難なるべしと(門司特電)

◎米大使外相訪問

米國大使ガスリー氏は二十五日午前十時石井外相を官邸に訪問し長時間會談する處あり右は疑もなく支那帝政問題に付き帝國政府より米政府に交渉する處ありたれば同國政府の回答を齎し會見したるものと察せらる(東京特電)

◎首相と中正會

大隈首相は廿五日正午永田町官邸に中正會代議士を招待し明年度豫算並に時局問題其の他に就き懇談を交へ午後二時過ぎ散會せり(東京特電)

◎戰亂と小包郵便

遞信大臣は告示八百五十六號を以て佛蘭西及白耳義宛小包郵便は之れを送達することを得ざる旨及同八百五十八號を以て埃及及び佛國英國經由羅馬尼亞宛小包郵便物は當分之れを發送することを得ざる旨公示せり(東京特電)

◎關東の獻上品 中村都督携帶東上

別府に滯在中の中村關東都督二十五日午前十一時二十五分門司に來著したるが同都督は商船哈爾賓丸にて江藤副官の携帶し來れる兩陛下東宮淳宮高松宮殿下へ獻上の旅順産鶉一千羽、熊岳産梨、栗、白菜若干及び犬一頭を持ちて午後一時門司發同船にて神戸へ赴き東上の筈(門司特電)

◎聖上御發輦

特別大演習御統裁を了へさせられたる大元帥陛下には二十五日午前六時三十分弘前市御發輦午後五時五十分仙臺驛御著輦同地偕交社に御駐泊あらせられ二十六日午前仙臺御發輦同日午後上野著御宮城に御還幸あらせらるべし(東京特電)

◎淺間修理竣成

海軍省報に據れば加奈太エスクワイモールト港に於て假修理中なりし軍艦淺間は工事竣成し廿三日本邦に向け同港を出發せり(東京特電)

◎松下軍治氏逝去

やまと新聞社長前代議士松下軍治氏は腎臟病にて療養中の處二十三日午後六時遂に逝去せり(東京電報)

◎土地調査會委員任命

朝鮮總督府臨時土地調査局委員左の如く任命ありたり(東京特電)

總督府事務官 蒔田利三郎
同 荻田悅造
同 山口貞昌
同 生田清三郎
同 澤田豐丈
同 遠藤柳作

朝鮮總督府高等土地調査會委員被仰付(各通)

◎堀田伯去來

堀田正恒伯爵二十三日奉天に來り二十四日大連へ向ふ(奉天特電)

◎小澤男爵門司着

滿鮮視察中なりし日本赤十字副社長小澤男爵一行は二十五日哈爾賓丸にて大連より門司に著せり(門司特電)

▲電信特別演習

東京發電特 青森盛岡及び仙臺の箇所に無線電信を設置し東京との間に飛行機寄降地の連絡を爲し無線電信特別演習を擧行す可しと

▲帝政問題と在野黨

支那帝政問題に關し政府當局に對し滿蒙支那通及び在野黨等が其意見を聞く可しと爲せるは擧國一致の確乎たる根據を得むとする意ならん

▲三井家廿萬圓醵出 三井家に於ては京都府大禮奉祝記念事業として廿五萬圓を醵出する事を申出でたるに付き大森京都府知事は今廿五日京都府會を召集其費途に就き協議したる結果下鴨村に十萬坪の大植物園を設置する事に決定せり

▲選擧無効と大審院 名古屋控訴院にて石川縣知事の敗訴に歸したる石川縣の選擧無効事件は被告側より上訴せり大審院の判決は如何なる裁斷を下すべきや猶疑問也

▲犬養氏と政友會 犬養總理は大隈伯側に傾き擧國一致の名の下に政友會を誘ひ居れり

▲朝鮮米調査 米價調節特別委員會は急手段の調査に著手すると同時に朝鮮米の調査をも開始したり

▲獨墺軍大敗 リガ要塞一時危急に瀕せるも露軍克く支へて善戰し獨墺軍大敗す

▲巴爾幹形勢一變 伊太利軍は士氣旺盛にして墺軍を擊破せる爲め中立を標榜して形勢の推移を觀望せる希臘は聯合軍側に起たんとし羅馬尼亞亦蹶起の機會を俟ちつゝあり勃國内には反政府叛亂勃發せり

雜報

◎朝鮮貿易(七) 關稅課長 宮木又七

是等も輸移出品取引の機關にして今之れを概說すれば客主は本來の業務は華客を宿泊せしむることゝ委託を受けて商品の取引を爲すことにして恰も内地に於ける問屋に類す、而して常に市場の相場を華客に通報し委託者は機を見て商品を客主に送り指定價格を示して販賣を委託す、同時に客主は委託者に對し預り證書を交附し、其後客主商品の販賣を了るときは所定の口錢其他諸經費を控除して委託者に精算するものとす居間は賣買業者の中間に介在して賣買の周旋を爲し、一定の口錢を受くるを業とするものにして恰も内地の仲立人に似たり、常に客主の店舖に出入し其依賴を受けて賣買者を探索紹介す、而して其行動幾分客主と相似たるものありと雖も、客主は委託者の爲に賣買を紹介すると同時に表面自ら取引の當事者と爲りて

▲權利の主體 たるに反し、取引居間は單に賣買の紹介に止り、取引に關しては何等干與する處無きものとす、右の如く奧地産品の取引は市場及び客主居間に依ることとなきも近來に至りては交通の便開けたると開港地商人も從來の如く坐ながら鮮商の齎らし來る物貨を買入るゝが如き宿幣を脫し、盛に店員を奧地に派して生産品の買出しに當らしめ、若くは競爭上農産品の如き收穫以前に於て相當資金を鮮農に貸付け或は地方の客主と氣脈を通じて出廻品を吸收する等積極の方針を採るに至り(完)

◎咸北道の民は富んでゐる 咸鏡北道長官 桑原八司

咸鏡南北道は餘程他道とは違つてる、南朝鮮と北朝鮮とは氣風にも人氣にも非常な差があるが一體にまだ朝鮮風が殘つてゐる傾きがある住民の體格なども餘程いゝ樣だし富の力も有る樣だ今度の共進會觀覽など遠方ではあるし費用も日數も可成りに經るからと内心杞憂してたが人數はさうないけれど

■皆百や二百の 懷中金は持つてたらしい是れには前以て貯金さしてもゐたけれど一體に咸北の住民には富力があると思ふ夫れには勤勉と云ふ性質もある樣だが何にしても露領と間島とを持つてる事は咸北に取つて鮮からぬ恩惠だと言はねばならぬ困るとすぐに圖們江を渡つて對岸に出懸る農夫で朝行つて耕やして晩は歸つて來る種類のもあり耕作期丈け行つて冬籠に歸つて來るのもあり更に移住してるのもある

■沿岸二里許り の處を調べて見ると朝鮮人の耕作してる面積が千町歩位ある樣だ更に夫れ以上はどれ丈け侵入してるか分らない牛は咸北には大事な産物だ昨年あたり五千頭位露領に行つてる一頭最低價四十圓と見積つても二十萬圓となる夫れに勞働者が送る金で七八十萬圓はある兎に角咸北には農産物に於て他道の樣に豐富でないが人民の富はある

■留を生の儲蓄へてる者な どいくらもある咸北が他と變つてるのはあらゆる方面でなのだが氣候も酷熱時戸外百三十度屋内九十五度など云ふ事がある夫れが冬になると御存じ通りの寒さなのだ林相なども他道と全く趣を違へた樅や楢などの密林がある同じ松林にしても此方の樣に根が露になつてゐずに雜草で蔽はれてる之は自然的な現象だが人爲的の現象を見ると圖們江の流域に柳並木で防波堤としてる處などがある

■昔の治績を偲 ばせるものだ咸北は氣候の關係からも農産物は乏しいのだが又農夫が肥料を施す事を知らない關係もある鏡城附近には三十町歩位を飛び飛びに年毎に培つてる處などある毎年培る事が出來ない程瘦せるのだ夫れが對岸に行くと非常によく肥えてる朝鮮人が移住し乃至は出稼ぎに行く所以である

鑛物は昨年あたり鑛床調査が出來たがまだ充分に研められてゐない樣だけども要するに咸南北は餘程違つてる處で所謂文明に遠い處だ

◎總督共進會巡覽

寺内總督は廿五日午後二時半共進會場に赴き第一號館より美術館、美術參考館を巡覽したる上同五時自動車にて官邸に還れり

◎朝郵今期成績 株主配當は七朱

本季間本年四月一日より九月三十日に至る第四期前半年度の朝鮮郵船會社の營業成績を概記すれば

▲航路の新設改廢 本期に於ける定期航路は命令私營併せて十六線所有汽船二十九艘九千餘噸の外傭船四艘二千二百餘噸にして航海回數一千三十三回浬數延長三十七萬九千四十三海浬其輸送貨物十一萬八千餘噸船客九萬六千餘人なり今期に於ては從來の命令航海期間滿了と共に四月一日元山雄基線外十線の沿岸航海命令を受け六月十九日之を更改され元山浦鹽線外十一線の近海航海命令を受け幾多航路の新設改廢を行ひたる後社業は一段の進展を見るに至りたり

▲今期は好成績 如斯にして沿岸交通の便益々加はりたるのみならず浦鹽長崎北滿等へ至る近海航路の施設は鐵路の便と相俟て對外貿易に資するもの尠しとせず而して朝鮮各地産業の發達顯著なるに伴ひ海運の事愈々多事ならんとするに際し同社は一層堅實なる基礎の上に漸次穩健なる發達を試みつゝあり而して前期に於ける一般の商取引は槪ね時局の餘波米價の不振等の諸因相錯綜して市況沈淪を極め從て社業甚だ不良なりしが這般の不況は本期に入り尙ほ未だ熄まず其のため會社は此趨勢に鑑み運賃の增收を計ると共に諸般經費の節約に努め旅客の增加と運賃の收入を圖りたるため今季に於ては良好の結果を見るに至りたるものにて前期には四朱の配當を爲したるも一躍七朱の配當を爲すに至れり

◎河野農相の挨拶狀

河野農相は渡鮮中官民の厚遇に對して頗る滿足の意を表し十七日附を以て寺内總督に宛て左の通り挨拶狀を送附し來れり

(前略)今回朝鮮總督府始政五年記念朝鮮物産共進會開會式並に鐵道一千哩祝賀會へ參列の際は終始懇篤なる御高配を辱し感激の至りに不堪候、又各地視察に付ては多大の便宜御供與に預り殊に御差添兩官の周到なる斡旋と鐵道官署の厚意に依り短期間に遺憾なく視察を遂げ候のみならず到る處多數官民諸君及び學生諸子の歡迎なる

商況

大阪株式特電

下關期米

仁川米豆取引所

▲後場の商戰 [illegible]

◎發奮更に努力せむ哉 名譽金牌受賞感 廣江澤次郎氏談

▲此の光榮 身には辱なくも、閑院宮殿下より私共の卷煙草しらぎ御買上の恩命に接し今回又總督閣下より名譽金牌を拜受しました事は私共の非常な光榮とする所で有ます、是は全く皆樣の厚き御同情と、一は先代の餘光及び私の部下が不棄克く奮闘して呉れた賜に外ならぬと深く感謝を致ます。私共も年々歲々非常な發展で有ます特に昨年七月煙草稅令實施以來英米トラスト退散し又彌次馬的小製造家も全く跡を絕ちましたので一層好調となり今日にては職外作業の分を合すると私共の職工數は三千八人に達し其製品價格も本年は百萬圓に上るの盛況です。販路の如きも朝鮮全道は勿論幾多の苦心と努力の結果滿洲各地より市島方面迄其製を張りました、私は實に根限り奮闘して朝鮮産業開發と大袈裟の樣ですが日本煙草の世界的發展のため貢獻する所有たいと思ひます

▲回想す十年前 回顧すれば十年前寒い冬の夜工場の板の間に煎餅布團を引ッ被り精力の權化たりし父の晩酌の餘焰に辛うじて淡き夢を結んだ當時又自ら車を曳きて古い木箱を買集め是に入れて二三個宛田舍に試賣に出した幼稚な時代を追懷します感慨無量です、父は一年半程重き病の床に就き遂に私共が英米トラストや東亞會社等と鎬を削り相摩す、爭覇戰の眞ッ最中なる四年前に殘念乍ら歿しましたが其精力の旺盛なりし事と事業に熱烈なりし事は敬服の外有ませぬでした

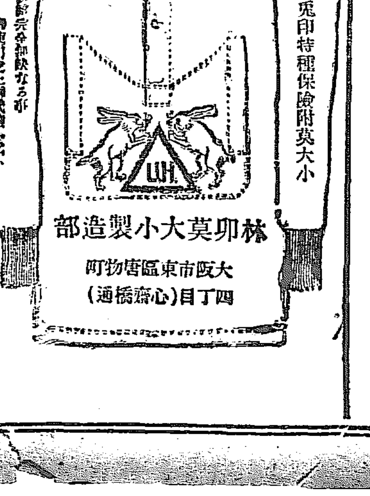
▲逝る源泉 自分で申ますも異なものですが廣江家は遠き昔より岐阜縣の笠松在に住み村中での舊家であり代々奮鬪家を輩出しました特に祖父の補助と云ふ人は頗る豪邁にて非常な奮闘家で有つたさうです祖母も劣らぬ精力主義の人で此夫婦が傾き居りし家運を挽回し再び村での豪家となつたので有ます、此祖母の弟に儀兵衞と云ふのが有ました最初は紬織と云ふで袖家の末流とか稱され紋所も菊水で有ました、此儀兵衞は後ち同じ美濃國北方の日比野家に養子に行きました、而して別に麻屋と云ふ屋號で呉服商を始ましたが、流石に補助仕込の事とて非常な奮鬪努力の結果間もなく北方町屈指の資産家となりました祖父は大變儀兵衞を寵愛し折節祖母等に『儀兵衞は偉い奴だ近來益々都合がよく資産も今では自家より上ぢや』と寢物語によくしたさうです、此儀兵衞に逸話が有ります少年時代は家運全く傾た事とて字を習ふにも筆墨の代なく餘儀なく河原へ出懸け砂文字で稽古したさうです然に晩年北方町では一流の能筆家となり大福帳の表紙は皆此儀兵衞に賴みに來たものださうです此儀兵衞の獨息子に儀七(後ち常七と改む)と云ふのが有ました妻は祖父補助の娘即ち先代澤次郎の姉です此儀七と云ふのが儀兵衞の歿後奮闘を忘り又繼母との不折合が原因となり家運稍々傾たので躍起となり突飛にも當時人が南米かの如く思ふ北海道へ製茶の移出を試みた、處が慣れぬ商賣と一つには途中非常な暴風雨に逢ひ散々大失敗をし遂に先代儀兵衞が粒々辛苦して築き上げた家も土藏も又先代自慢の庭園も人手に渡し住慣れし北方を見捨て悲嘆の涙に暮るゝ妻と五人の小供を連れて名古屋に移住の餘儀なきに至りました此五人の子供の四人目が實は私で五つの時でした、此悲慘な一ト幕は幼稚乍ら私の腦裏に深酷に印象しました、運命の神は何處迄も盛に私共を飜弄したので有ます、其後私丈けは加藤家に養はれ是を姓と致して居ましたが又原系たる廣江に戻つた次第です

▲更に活躍せむ 話は岐路に入りましたが如斯祖先に奮闘家を有して居る私は父祖の興廢の跡に鑑み他迄健實を主とせねばなりませぬが、一層活躍して、聊か國家、社會の爲にも貢献する所有り又個人としても傑出したる成功を羸ち得たいものだと念じて居ます、ドウゾ此上共御同情と御鞭撻の程お願致ます。因に今私の家族は私を克く薰陶し輔導して呉れた母と妻の國惠と子供三人とです、長女は廣子、是は加藤家を襲ぎ長男は遂雄と申し、次男は正克と云ひます、次に父の奮闘苦心談や又私の經驗より得たる殖民地に於ける事業經營上御參考にならうと思ふ事もありますが是は又他日の機會に讓りましよう

人事消息

▲高橋克親氏(釜山起業會社專務取締役) 二十五日入京天眞樓へ投宿
▲渡邊英太郎氏(南滿總督府技師) 同上朝鮮ホテルへ
▲菅野彥藏氏(實業家) 同上
▲笠井眞三氏(三井物産會社員) 同上
▲ヒンクリー氏(マニラ商人) 同上

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百廿五萬圓
株式會社 第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一二番)
頭取 男爵 澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
殊に朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候



文學博士大槻文彥先生序 水島愼次郎先生編 武田霞洞先生書
最新刊 漢和文海字典
縱五寸二分 幅三寸六分 總紙數クロース千百一頁 定價金壹圓廿錢 送料內地八錢 朝鮮樺太滿洲廿錢 特價
特色 本書は漢字熟語故事成語等を網羅し解説を明確にし緊要の文字を摘錄し…
發行所 東京市京橋區 文海堂 大賣捌 大阪 寶文館

千載一遇の名譽
今橋式敷島精米機は本秋御擧行の御大典に膺り大嘗祭主基齋田米精白用として御撰定御用命の光榮を賜へり
登錄 專賣特許 敷島 商標
新案登錄 米麥用精搗機

◎朝鮮京城於共進會機械運轉廣告 共進會開會中每日左の諸機械を運轉し實地作業を御覽に供するを以て必す御來會御實驗の上御用命且御高評あらんことを奉希望候
◎今橋式自動敷精米機五連座運轉裝置 此精米石高拾時間六十石 揉集め小米篩別共自動取扱人一人足 五馬力 一臺 運轉
◎同六形(ル形に同じ)(籾米エンゲ) 此精米石高同上 四十石 動力 一臺 運轉
◎同敷島籾摺機 此製石高同上 約四十石 動力一馬力半 一臺 運轉
◎製莚機 但自由製織共 此製莚高一日 廿五枚以上 動力 一臺 作氣實施
會期中 店員數名會場 及 假出張所に詰切候に付御質問 及 御用命共被仰付度奉希望候
敷島精米機 米穀精米及鐵工業 大阪市西區江戸堀北通三丁目 電話 土佐堀二八二 振替口座大阪一四四四九番
京城府旭町一丁目九四番地(府廳西横手南上る川端)
今橋芳松商店
同京城假出張所

成功デーの賑ひ

餅撒き=假装行列=入場者數懸賞投票

共進會も意外の大成功を以て有終の美を收めんとするの日近きたれば廿七日京城協賛會主催となり成功デーを開會することゝなれり先づ其趣向の重なるものは協賛會事務所の前に美事なる高さ二十間巾十間の三寶形の櫓を建て景品引替券を包込みたる福餅約一石を撒き一方には場内賣店飲食店及び興行人等聯合二百名の假装行列あり更に入場の鮮人中より四百人を選擬し二百人宛に別れて綱引を行ひ優勝者には賞品を授與すべく今一つの催しは當日の入場者に對して共進會閉會迄の入場者數を豫想投票し場内の投書函に投入したる者にして當選者には一等五圓より十等迄賞品を贈呈すべしと

（一）俳優變装行列

扮したるは一番の喝采を博した、猶ほ又菊花展覧會の慶會樓では總見の美人に模擬店の變態あるなど又一入の賑ひを呈せしが場内紅白黄色の絢爛たる菊花も大人氣であつた

煙花デー

廿六日夜望會 樓畔の壯觀！

京城協賛會にては二十六日午後二時より煙花デーとなし夜間にかけて數百發の仕掛煙花を打揚ぐる筈であるが更らに夜間會場に於ては慶會樓池畔又は池中の全部に無數の仕掛煙花を取附け紅白種々の美麗なる煙花を觀覧に供す可しと

假装行列

共進會の賑ひ

藝者妓生四百餘名の總見で賑つた二十五日の共進會場は午後一時から又復俳優の假装行列で大人氣を呈した、行列は龍山座、御成座の新舊俳優數十名が一團となつて本陣協賛會角力場を繰出したのであるが中には衣冠束帶の神官あり、お俊傳兵衛あり、判官、囚人、巡査、支那人、高砂の老翁媼あり何れも鹿爪らしき面色にて協賛會場内を練り歩きながら就中陸軍將官と黒奴に品を贈呈すべしと

拘引さる

下關郵便局長 官金横領瀆職背任

下關郵便局長通信事務官補法學士栖崎寛(三)は二十三日夜電報にて休職命令を受け二十五日朝令狀により拘引され末決監に收容されたり、罪名は官金横領瀆職背任罪にて郵便切手收入印紙一千餘圓を横領し本年五月以來前任地姫路郵便局井上照務係長の帳簿逆算を救助する必要ありとて部下の儀滿信次郎、澤村次郎に懇請し印紙主任鐵井傳次郎に命じ數回に受取り費消せしが鐵井は本月三日夜吐血發病し十一日死亡の際一件を盡く自白せしより發覺して刑事の活動を見るに至りたる由（門司特電）

家庭博覧會

享樂の郷寶の山

お禮心に大奮發

大福引、寶探、名刺交換競爭、琵琶 今晩から何を措ても先づ家庭博へ

二十六日夜の家庭博はたびく記しました通り例の大評判の福引と寶探しと妓生の名刺交換競爭と筑前琵琶とが重なつて入場者はその御馳走澤山なのにお醉ひにならねばいゝがと思ふ位で御座います宛るで寶の山に分け入る樣なものです、そして一旦入場なされば是等の全部の特權に與かるわけでありまして別段一文半錢も申し受けないのです、かゝる事は開會以來未だ曾つて無かつた事ですが會期も纔かになつたので大成功のお禮心に家庭博が大奮發をしたので御座います、一度觀たからいゝなどと仰しやらずに繰返してお出でなさい、享樂郷家庭博へお出でください

寶探、名刺競爭、琵琶、大福引―今晩は是非家庭博へ！

名刺交換競爭

の規則は次の通りです

二十六日の晩に行はれる家庭博の妓生の名刺交換競爭には日鮮人男女の何れも加はる事が出來るのです、その方法は廣橋妓生組合の妓生三十人が打揃つて午後七時から入場して一定の合圖と共に三十分間に各々携へた手帳と名刺を持つて一般入場者の間を持つて廻り手帳を出して署名を求めそれに對して名刺一枚宛を渡す、そして夫々異なつた入場者を物色してその署名の數が二百なら二百、五百なら五百と兎に角一人でも多い者が優勝者で一等五圓二等三圓三等二圓の賞品を受る事になり四等五等には廣江商會寄贈のしらぎ煙草を贈る又更に入場者の方では一分でも早く妓生三十人の名刺を揃へて集めた者が一等それから順位によつて五等まで『しらぎ』三箱以下の賞品を差上げるのです、勿論妓生から手帳を突きつけられる前に自分の方から一人一人妓生を探して歩いて名刺を貰つて歩いてもいゝのです、男女何れを問はず双方から尋ね合ふのですから餘程面白い競技です、以上の規則に差はぬ樣に是非此の競爭に御入り下さい、尚此の競技に對して廣江商會から『しらぎ』[illegible]二箱の寄贈があつた

（二）招待會休憩所の藝妓

兵隊さんの大當り

大福引は益々盛んです

二十五日の景品引換所は大變な賑ひで係員は朝から眼の廻る忙しさに天手古舞をしてゐる、面白かつたのは第廿五聯隊第七中隊の黒田龜次郎といふ兵隊さんに一等が當り四圓入つてる景品袋を渡すと『串戲言つちやあ可けない』と容易に信用せず、眞實にしなかつたがそれではと現金を出して渡すと『イヤこれは有難い』と敬禮して連れの兵隊さんもニコくもので踊つて行つたがそのあとに來た野砲兵第九聯隊の兵隊さんが五六人連れ立つて來てツイ今しがた前の歩兵聯隊とは別の砲兵聯隊一中隊の數川重治といふ兵隊さんが三等に當つたと聞いて『數刈の奴ウマクやつたな奢らしてやれく』と踊つて行つたのもお愛嬌であつた

水色の裳を長く曳て

妓生の名刺交換競爭

二十七日は茶洞妓生

▽一體どんな事をするんだらうと皆樣が不思議の眼を以て注意しながら待乘ねていらつしやる廣橋妓生の名刺交換競爭はいよく今晩午後七時三十分から八時までの三十分間に行はれます、これは家庭博の館の内外を問はず妓生が盛に出没して手帳に署名を求め名刺を差出しますから共拘合決して戀かずに書いてやつてください、そして好きだと思ふ妓生の勝を祈つてやつてください、同時に又成るべく

▽早く卅人の妓生の名刺を寄せ集めて御自身勝を占めて努力に對する當然の報酬であるところの賞品を御請求なさる事をお忘にならぬ樣に―滴たる樣な水色の長い裳を曳て左往右往する妓生の美しさ、艶かさ、兎に角時刻までには是非家庭博へお來でください、二十七日の午後七時三十分から新手として茶洞妓生組合の妓生が出て同じ競技をいたします

隱れた寶を[illegible]

お待兼の寶探しは今晩から

廿八日迄毎晩家庭博であります

寶探しはいよく今晩から二十七日二十八日の三日間毎晩七時から八時の間に家庭博で行る事になりました

▽一等五圓二等三圓三等二圓四等一圓五等それく物品の賞札は毎晩出るのです、賞札は木札で一等なり二等なり明かに書いてあります隱してあるところが何處であるかは神樣でなければ判りませんが館内には決してありません、後庭の五百坪の地域に限られてありますから根よく探せば子供でも御婦人でも見つかります、地を掘り返して、草の根を分けても少しも構ひません、どしく御探しなさい、札が見つかつたら引換所がありますから

▽直ぐ現品を受取りにおいでなさい、若し又隱滋拙なくして見つからぬ場合には決して御遠慮には及びません、二十八日までは毎晩繰返しますから毎晩いらつしやい、假りに又寶が出なかつたにしたところが地中から掘り出したり隱れたものを探し出して明るみに出す刹那の愉快な氣分を味にいらつしやい

旭翠出演

今晩の筑前琵琶

廿五日夜の家庭博餘興（旭扇女史の琵琶）

今晩家庭博に出場する筑前琵琶の演奏者は斯道の本場たる福岡に於て年少の時から斯道に志ざしその熱心なる研究に加ふるに天性的の音樂才能は瞬くうちに上達の域に導いて立派な演奏家となつた愉快な青年坂井旭翠氏並びに旭翠會の會員中の主なる人々玉屋水鳥氏の扇の的高木旭匂氏の項羽坂井旭翠氏の義士本懐等である

聽衆殺倒

盛な琵琶演奏會

東原旭扇、水波旭櫻、江島旭峰三女史の筑前琵琶演奏會は定刻に遲はず午後七時開始したが折柄入場中の觀覧者は後庭に殺倒して來て一曲毎に破れる樣な拍手喝采を浴びせかけて演奏が始まると水を打つた樣に靜かになつて聽きとれてゐるのであつた

鐵園氏金剛山畫會

南宗畫家の泰斗佐久間鐵園氏は金剛山を跋渉して其の風光を天下に紹介せんとし過般鮎貝氏と共に自ら一萬二千峰を踏破し畫嚢を富有ならしめて歸京したるを以て近く京城同好者の希望を入れ金剛山畫會を開催する由なるが氏の健筆は我南宗家の第一人として大に賞讃を博すべきものあるべく定めて大好評を得べし

えんげい

▲壽座の活動寫眞 壽座は廿五日より舊劇俱樂部へ日活特選の大寫眞[illegible]鬼若三次、其他探偵活劇等新舊新派の雄編にて座員大車輪となり毎夜先着觀客三百名にはしらぎ一個づゝを呈し中には無料入場券も入れありと

▲虎丸愈々開演 八月に一度來て大喝采を博した浪花節東派の泰斗である甲斐虎丸は二十五日町廻りを爲し今二十六日夜より愈々浪花館に開演大に淀いところを聞かせる由なるが同人のモタレとしては女流浪花節の勝利としてお馴染の岡田千代子あり初日の讀物左の如し ▲義烈百傑（岡田千代子）▲[illegible]二席赤穗誠忠録、德川天一、切腹原多助（虎丸）

大阪期米特電（廿一日）

▲二十五日前場 十月限 二一、五〇 十一月限 二一六、六〇 十二月限 二一七、一〇

後場伸び悩み 大阪の上寄を[illegible]

京日案内

●普通 [illegible]

●店員解雇 森山幸一義今般都合に依り解雇致し候 京城南大門驛前 松原運送店 805

●入用 針仕事達者なる四五十歳の女宿込にて至急に雇入度し希望者來談 京城新町 君乃江 803

●貸金 官吏會社員の御方へ小口信用秘密融通御一報次第伺上候 京城和町三ノ不老泉前横丁 起木屋 793

●女中口入 官舍、商家、旅館 京城明治町 萬年社 電話一八四四 620

●古本 ▲雜誌（新聞）買入 ▲反古（一番）電話二三五七番 京城本町ウツボヤ書籍店 747

●見習生入用 十三歳以上十六歳以下希望者は 黄金町時計卸商 喜多金光堂へ（電話一〇一五番） 786

●店員募集 廿歳前後の者二名至急採用す希望者は但し保證人を要す ▲本町一丁目 平田商店 800

●賣地 南大門通宅地 坪御望の方は（電話壹〇壹五番）△黄金町 喜多金光堂 760

●番外 一回前金六十錢（無割引）

●小資 營業内地全國大流行収益確實 資本入にも出來る始業簡易目下始業の好時機御用命を乞ふ 門司市浪花町三丁目浪花橋際 濱田 804

●はねつき うちみ等 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 685

▲牛肉卸小賣 京城南大門通四丁目青物市場前 電話二九一二番 高橋牛肉店 741

マッサージ 産婆 三浦小糸 京城本町二丁目電話一四四番 756

りん病 三日薬 婦人消渇にも特効 家傳 本町三丁目 東京救濟院京城出張所 至る所に代理店あり 五十二番地 765

濁酒は㊂に限る 卸小賣 行商人多數募集す 龍山驛前 丸三酒場 大勉強 電話三〇 775

賣地及家屋 市内外に有十萬坪希望の箇所 各筆に分賣す希望者御來談ありたし 電話九三五番 本町三丁目 森川商店 778

支那歐米雑貨品揃 確實安價 京城南大門通一丁目廿二番地 德興泰洋品店 779

薪炭 石炭たどん卸小賣 新大勉強 諸官衙御用達 京城本町四丁目 電話三〇九三番 稻垣炭商店 782

皮膚病 花柳病 専門 永樂町商品陳列所坂の上 須古醫院 電話二一〇二番 802

◎葬式道具無料貸し 棺箱骨箱製造安價販賣 若草町御寺正門前 指寅 797

●從成特産 平壤栗 種子用 食用 種子苗木 農具商 おろし 小賣 京城勸農園 電話七〇四 振替口座京城五五六 798

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 708

新刊書御案内

書名	著者	定價
●列强の外交政策	蜷川新	一、五〇
●人物と事業	横山豊堂	一、〇〇
●增訂新佛和辭典	野村泰亨	三、二〇
●うねうねり	晶子 女史	六五
●花より實をとれ	馬場孝子	八〇
●最新養鷄法	中村蕉月	三五
●アマゾン探檢記	中村直吉	一、〇〇
●朝鮮より	宮原綱村	五五
●朝鮮風俗集	今村鞆	一、八〇
●粘土細工樂燒製法	松村清吉	四五
●道草	夏目漱石	一、五〇
●俳諧新五萬句	伊達秋航	一、八〇
●女人國記	三宅雪嶺	一、二〇
●江戸時代史論	日本歴史地理學會	二、四〇
●現代教育者與生活	鳴岡書	九五
●醒めたる女	遠藤博士	一、〇〇
●ブラジル移植民與相	伊東著	九五
●をりをりぐさ	花見	一、三〇
●接吻の後	紅雨 女史	七五
●地獄	江馬修	七五
●日本農業道德論	宮武鶴治	七〇
●井上英和大辭典	井上十吉	三、五〇
●新譯獨和辭典	登張信一郎	一、六〇

大阪屋號書店 京城本町電話一〇八六番 振替京城二五七二

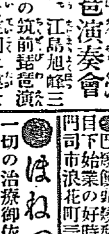
祝 共進會紀念即賣會 共

書畫、骨董、ヒスイ、高麗燒 貴顯紳士諸彦の御土産に 適當品澤山

本町二裏通（電話七八四番） 京城株式會社

正札附陳列 縱覽無料

進 自午前八時至午後六時 會



家庭適應症 ●老衰肺病 ●肋膜神經 ●消化不良 ●營養不良 ●貧血諸症 ●産後病後

定價 ▲大瓶 壹圓五拾錢 ▲小瓶 八拾錢 ◎京城は各藥房にあり

創業元大阪道修町 藥劑師 小西久兵衞

酒精分無くて葡萄酒の上味

代理店 京城南大門通 新井藥房 同大平町通 キムラ藥舖 釜山辨天町 大黒藥舖 元山港 石川濟生堂 木浦 木下藥舖 安東縣市場 井上藥舖

千生瓢（23）

須藤南翠作 筒井年峰畫

雪消（八）

上巳といへば北國も春めいて來るならひ、桃櫻はまだ開かねど、紅旗は今が眞盛りである、北庄の城内も三人の姫達が雛祭に、奥も表も花やかな聲がさゞめいて居た。

姫達に侑められた白酒を、一口にべろりと飮んで、舌嘗ずりをしながら。

『えゝ、甜う甘い酒ぢや、頓と醉はぬわ』と大の目に四方を看廻す佐久間玄蕃允盛政が掌には、小さな蒔繪の杯が、ちよんぼりと朱く上つて居た。

『今日は婦女の節句おざりまする、お白酒がお氣に召さずば、お豆炒上らせられへ』

阿茶々殿は蒔繪の組重を開いて、銀の七に炒米を掬ひ上げた。

『ほゝう、芳しい馨の致す、さらば之に賜はれ』

盛政が兩手を出すのに、阿茶々殿は、零るゝばかり盛り上げた。

『尤樣、一粒も捨てさせられな、雛樣お腹立てさせられまする』

阿信殿は傍から注意した。

『宜うおざるわ、見させられ、一口に食べてこます』

あつと開いた口の中へ、兩の掌に盛られた砂米を押し込むだが、忽ち顏を顰めて吐き出しさうにした。

『御卑怯おざりまする、上らせられへ〳〵』

『一粒も殘してはなりませぬ』

御茶々殿と御信殿とが、左右からかや〳〵と言ふので、盛政は眼を白黑しながら、嚙み碎いて辛うじて嚥下した。

『やあ、甘いわ〳〵、口中が飴を流されたやうぢやよ、御達はよう斯やうな物、貪翫めさるな』

『御口中が粘り申せば、お茶一ぷく聞し食せ』

阿初が風爐の前に押直ると、盛政は手を揮つて支へた。

『此上に苦い茶を振舞れては、玄蕃の腹は惱亂致すわ、免させられへ、免させられへ』

『大小數箇度の戰場、魁で敵を挫く名譽の尤樣、女性に後を見せなされては、御名折でおざりませうぞ』

阿茶々殿に追ひ廻されて、盛政は首を縮めて逃げながら。

『免させられへ〳〵。末代まで御達の饗應には參り申さぬ、免させられへ〳〵』と這々の體で虎口を脱した。

哄然と笑ふ美しい聲を聞き流して盛政は勝家が前に來た。

『伯父公、酒賜はれ、こりや叶はぬわ、酒ぢや〳〵』

『今日は節句ぢや、何れにも振舞はうと存じ居つた、まあ待ちやれ』

勝家は悠々と緩いでゐる、盛政はいら〳〵して。

『酒宴は後して、今堪へられぬぢ一盞賜はれ、一盞〳〵』

『一盞も二盞も遣らう、何しに左樣渴くのぢや』

『姫達に請せられたぢや、振舞の白酒、炒米、其甘さに兜を脱いだ。其上に薄茶とある、玄蕃生來始めて後を見せ申したわ』

『はてさて鬼にも魚醬ぢや、姫達には鬼玄蕃も敵でないかよ、はゝはゝはゝ』

勝家は笑ひながら酒を命じた、やがて小姓の持ち運ぶ杯に、盛政は英氣を恢復して。

『是ぢや〳〵、斯うなれば此方のものぢや、旗出しは何日と定められた』

『明日にも出さう、明後日にも出さう、兎角は人數の著到次第ぢや』

『第一陣な誰が打つ』

『それはお主と相談づくぢや』

『吉例ぢや、誰彼と言はふより、玄蕃先陣する』

『お主は短慮ぢや、三陣に退からうぞ』

『短慮固く謹まう、先陣の許せられへ』

『さらば、な。何事も我等が指揮を受けるか』

『乾度指揮に從ひ申す、是非に先陣許させられへ』

『さらば望みに任さう、必ず我意を出すまいぞ』

『畏まりまいた』

盛政が欣然として言承をする時、遠侍の一人驅け著けて。

『能州七尾城主前田孫四郎利長殿第一番の著到おざりまする』

『孫四郎殿見えたか、此れへと申せ』

『ハツ』と言つて番士は引退つた。

皮徽科

入院隨意（診察夜九時迄）

皮膚病 黴毒病 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍

日曜祭日午後二時迄

京城明治町二丁目（元町通）

佐藤醫院

（電話一一七三番）

小川家畜醫院 京城明治町三丁目

京城壽座前
太平堂名刺舖
電三七一二◎振替三三六七
地方は郵送料不要

◎ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく、混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず、更に『フェノールフタレイン』を以て、仔細に遊離の亞爾加里を驗するも、毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。

皮脂の分秘量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、實に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ずべからず。

◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならずなほ左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、若も剌戟を感ずべき處あるものを用ひず。

一、溫雅の芳香を有す。

二、細き泡沫を生ず、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適し、經濟に合する、理想的實用石鹼なり

擔任技師 工學士 藤野太治郎 工學士 越智主一郎

▲賣捌＝全國到る處の小間物店。化粧品店。藥舖。洋酒食料品店▼

本舖
ミツワ石鹼
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
肝油ドロップス
御園化粧品

發賣元 ◎登錄商號 丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電信略號（◎ミヤ）
振替口座東京七一〇番
電話 浪花 三〇九八番 長浪花 四四一五番 營業部 四四四四番

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸 十月 日後四時出帆
君が代丸 十月廿七日後四時出帆
大有丸 十一月三十日後四時出帆
第二太湖丸 十一月二日後四時出帆
○群山、大阪行
土海丸 十一月 日後五時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
小倉丸 十月廿六日後五時出帆
○元山城津浦鹽行
小倉丸 十一月四日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
立神丸 十一月九日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行
立神丸 十月廿六日後十時出帆
○元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸 十一月十一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸 十一月二日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大箕丸 毎月二日九日十六日廿一日廿六日 午後十時出帆

釜山埠頭立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

東京 大阪 本船命令航路 芝罘、大連行
第六共同丸 十月 日後二時入港 十月 日前九時出港

大連芝罘鎭南浦にて荷客連絡 大連にて靑島行定期船に接續 滿鐵旅客共同航路と同船運賃にて通し輸送御取扱可仕候

城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸 十一月四日 月 日後九時出港 （元山出帆）

西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸 十月 十月 日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社
本町一丁目（電話一〇八番） 仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部 仲町（電話二四四七番）
京城取次店 河村運送店 南大門通（電話一六八、二〇一七）

大阪商船仁川出帆

○中國四國沿岸各港行一割引を以て連絡切符發賣仕候
○外航所屬航路（遠洋航路を除く）間連絡切符二割引の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
×油頭丸 十月廿七日
須磨丸 十一月三日
溫州丸 十月三十日 午後五時出帆
○木浦、釜山、長崎行▲は嚴原廻の旨に寄港
××安東丸 十一月九日
▲天智丸 十一月二日 午後二時出帆
○鎭南浦、大連行
××安東丸 十一月五日
天智丸 十月廿八日 午後二時出帆
○鎭南浦關門神戸大阪行
○ 月 日
○ 月 日 正午五時出帆
○群山、釜山、横濱行
△千珠丸 十一月二日
△チヨイサン丸 十一月十四日 午後四時出帆
○大連直行
△千珠丸 十月廿八日
△チヨイサン丸 十一月八日 正午出帆
○淸津、浦潮行（元山出帆）▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
久丸 十一月九日
地宮丸 十月廿九日
▲神城津丸 十一月四日 午後九時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸 十月廿九日
安平丸 十一月六日 午後四時出帆

御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船出帆約一時間前無賃送迎可仕候
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二二〇番五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七八〇番

日本郵船仁川出帆

○大連太沽牛莊行
三河丸 十一月八日 正午出帆
相模丸 十月三十日 正午出帆
○大連、太沽行
高砂丸 十一月廿二日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番三三一番
陸運及京外船と荷客運送の便あり、詳細は支店、出張所、代理店、荷客取扱店に御照會被下度候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店（電一二一七番）

門司より釜山各港寄港雄基間こと
全羅丸 十一月四日
京畿丸 十月 日
黄海丸 十月廿九日
咸鏡丸 十一月八日 釜山發
元山より各港經由雄基行
昌平丸 十月 日
鏡城丸 十月廿六日 元山發
城津、淸津、浦鹽行復航釜山經由門司
能登丸 十月 日
忠淸丸 十一月一日 元山發
又は長崎延長
北久味、五里浦行
永興丸 毎月廿八回 元山發
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
嘉島丸 十月三十日 釜山發
長生浦、方魚津寄港
江陵丸
襄陽丸 毎日 （釜山浦項）發
長承浦、國水、巨文島、濟州島各港行
三浦丸 十月廿七日 釜山發
各港經由麗水行（三日目一回木浦行）
海州丸
統營丸
巨濟丸
慶寶丸 毎日 釜山發
各港經由麗水より釜山行に接續
順天丸 三日目毎 木浦發
一、各港經由濟州島行（西廻）
慶興丸 十月 日 木浦發
一、南多島海列島行（月三回）
公州丸 十一月二日 木浦發
海州他各港經由、鎭南浦行
宗信丸 十月廿九日 仁川發
芝罘、大連、靑島行
江原丸 十月 日 仁川發
各港經由木浦行
麗水丸
晋州丸 十月廿九日 十一月二日 仁川發
江華島、喬桐島、海州行
全州丸
南陽丸 毎日午前 仁川發
往航 大黑山、木浦、門司、若松行
復航 門司、木浦、群山行
平安丸 十一月十六日 群山發 十一月十三日 若松發